

伊奈町いきいきミーティング

2016 伊奈町民討議会

実施報告書

テーマ：魅力ある伊奈町の地域ブランドの創出と発信について

JCI  **公益社団法人 埼玉中央青年会議所**

〒330-0845 埼玉県さいたま市大宮区仲町2-15 矢島ビル3階

Tel:048-647-3315 Fax:048-647-3316 e-mail:office@jc766.com

<http://www.jc766.com>

共催：伊奈町 協力：伊奈町商工会

はじめに

この度は、私たち公益社団法人埼玉中央青年会議所が主催しました伊奈町いきいきミーティング「町民討議会」にご理解とご賛同を賜り、ご参加いただきました皆様へ心より御礼を申し上げます。また、ご共催をいただきました伊奈町長 大島清様をはじめとする行政の皆様、そして伊奈町商工会、伊奈町商工会青年部、日本薬科大学の皆様におかれましては、本町民討議会を通してご指導ご協力を賜りました事に厚く御礼申し上げます。

青年会議所は“明るい豊かな社会の実現”を理想として活動する世界規模の青年団体組織であり、日本国内には私たちと同じ青年会議所が697団体ございます。36,000名以上からなる其々の会員が地域の未来に向け、まちづくり運動や自己研鑽に日々励んでおります。そして今年度、私たち公益社団法人埼玉中央青年会議所は“彩志奮迅”という基本理念のもと、伊奈町、さいたま市、上尾市で輝き誇れる我がまちの創造をするべく運動展開しております。

2011年から開催しておりますこの伊奈町いきいきミーティング「町民討議会」は皆様のご協力のもと、今年で6回目の開催を迎える事ができました。一度参加していただいた町民の方には、その経験を活かしていただき、今年度は多くの皆様にテーブルサポーターとしてご協力をいただきました。討議者として初めて参加される方から、中立的な立場でテーブルサポーターとして多様な意見を引き出していただき、其々のグループでそれらを取り纏めていただきました討議の結果は大変貴重なご意見であります。

今回は“魅力ある伊奈町の地域ブランドの創出と発信について”をテーマに積極的な意見を出し合っていただきました。この討議会において導きだされたご意見をもとに報告書を作成し、民意として伊奈町へ提言書をお届けいたします。それが今後の伊奈町においてのまちづくりに反映され、町民と行政が一体となった皆が理想とするまちの実現に向けた一助となることを会員一同、心からご祈念申し上げます。

私たちは、まちに住み暮らす人々が当事者意識をもって積極的なまちづくりに関わり、まちの理想の姿を形にしていくことが、より良いまちづくりに繋がると考えております。地域に住み暮らす人達だからこそ分かることがあります。私たちはサイレントマジョリティと言われる主婦やサラリーマン、学生の方々もまちづくりに参加できる機会を創出し、町民参加・町民協働によるまちづくり運動を推進して参ります。今後とも皆様のご理解とご協力を賜り、共に運動できる事を切にお願い申し上げましてご挨拶とさせていただきます。

2016年10月

公益社団法人埼玉中央青年会議所
理事長 吉田 浩士

目次

I 事業概要	3
1. 本報告書の位置づけ	3
2. 伊奈町民討議会開催に至る経緯・日程	3
3. 町民討議会とは	4
4. 伊奈町民討議会の特徴	4
5. 伊奈町民討議会開催概要	5
6. 伊奈町民討議会報告書作成会開催概要	6
7. 伊奈町民討議会報告会開催概要	7
II 企画から実施までの流れ	8
III 討議会結果及び提言	14
討議テーマ:魅力ある伊奈町の地域ブランドの創出と発信について	
① 各グループまとめ討議結果(9月4日討議会)	14
② 各グループまとめ(10月1日報告書作成会)	20
③ 町民提言・補足説明	24
IV アンケート結果	26
1. 参加者開催前アンケート	26
2. 不参加者事前アンケート	32
V 討議会検証アンケート・総括	36
1. 参加者開催後アンケート	36

【参考資料】

- ① 「平成28年度伊奈町民討議会」の実施に関する協定書(押印なし)
- ② 参加依頼書及び同封した開催主旨
- ③ 参加決定通知書及び同封した当日の参加者ガイドブック
- ④ 情報提供資料

I 事業概要

1. 本報告書の位置づけ

本報告書は、公益社団法人埼玉中央青年会議所（以下、青年会議所という。）と伊奈町（以下、町という。）が共催で実施した『伊奈町いきいきミーティング「伊奈町民討議会」』における参加者の討議結果について、『「平成28年度伊奈町民討議会」の実施に関する協定書』に基づき報告書としてまとめ、埼玉中央青年会議所から町に対して施策への反映を求め提出するものです。

2. 伊奈町民討議会開催に至る経緯・日程

町民討議会は、1970年代以降ドイツで始まった、行政への住民参画の仕組みです。ここ数年日本でも、主に青年会議所が主体となって運営をしております。地域住民がまちづくりに参画する新しい場として、また、地域住民の声の中でも特に最近重要視されている声なき声（サイレント マジョリティ）を行政へ届ける新しい手法として、今注目を集めています。伊奈町におきましては2011年に埼玉中央青年会議所が「伊奈町民討議会」を開催し、今年は6回目の開催となります。

「伊奈町いきいきミーティング」は、本年5月31日に町と青年会議所がパートナーシップ協定を結び、準備を進めて参りました。運営方法などについて議論を重ね、「町民討議会」における提言がより町民の皆様の声を反映させるものであるように、当年度におきましては、前年までの「伊奈町民討議会」参加者に、討議会においてグループ毎の討議の進行役であるテーブルサポーターとしてご活躍いただきました。

以下の通りの日程で町民討議会を開催いたしました。

[日程]

2016年 5月31日（火） パートナーシップ協定締結

2016年 8月20日（土） 事前勉強会
場所：埼玉県県民活動総合センター3階 305セミナー室

2016年 9月 4日（日） 町民討議会
場所：伊奈町ふれあい活動センター2階 会議室1・2

2016年10月 1日（土） 町民討議会報告書作成会
場所：伊奈町役場3階 第1会議室

2016年10月22日（土） 町民討議会報告会
場所：埼玉県県民活動総合センター3階 306セミナー室

3. 町民討議会とは

町民討議会とは、無作為抽出による町民が集まり、まちづくりに関するテーマについて、情報提供を受けた上で話し合い、そこで出された意見を集約してまちづくりに活かす町民参画手法のひとつです。ドイツの住民自治手法である「プランungskスツェレ（計画細胞）※」を日本風にアレンジして取り入れたものであり、日本青年会議所が日本に紹介し、2005年に東京で実施されて以来、各地に広まっています。各種の審議会や公聴会、タウンミーティング等の住民参画手法では、行政が出席依頼した各種団体や自治会の役員など、いつも決まった顔ぶれであることが多いのに対し、町民討議会は、サラリーマンや主婦、学生など意見を表明したくてもなかなか出来ない人たち（サイレントマジョリティ）の意見を吸い上げることが出来ます。

※ プランungskスツェレ（Planungszelle=計画細胞）とは？

ドイツのペーター・C・デーテル教授が1970年代に考案し、実施されている新しい市民（町民）参画の方法です。英語にすると、プランニングセル『計画細胞』となります。無作為抽出の市民（町民）が様々な行政・政治課題に対し討議を重ね解決策を探るプランungskスツェレは、民主主義の刷新を図る具体的方法として注目を集めています。

○特徴

- ① 参加者は無作為で抽出する。（住民基本台帳等の利用）
- ② 有償で一定期間の参加。（4日間が基準）
- ③ 中立的独立機関が実施機関となり、プログラムを決定する。
- ④ 原則30名で構成。
- ⑤ 専門家（利害関係の場合もある）から情報提供を受ける。
- ⑥ 毎回メンバーチェンジしながら、約5人の小グループで討議を行う。
- ⑦ 「住民答申」という形で報告書を作成し、参加した住民が正式な形で委託者に渡す。

4. 伊奈町民討議会の特徴

- (1) 伊奈町に住民登録のある16歳以上の方から、無作為抽出で選ぶ。
- (2) 有償で討議参加を依頼する。 ※3,000円のお買い物券
- (3) 過去の「伊奈町民討議会」参加者の中からテーブルサポーターを募集し、事前勉強会を経た上で、討議会に参加していただく。
- (4) 埼玉中央青年会議所がプログラムを選出し決定する。
- (5) 1日で1討議を行う。
- (6) 1グループは、5名とテーブルサポーター2名で構成する。
- (7) 「報告書作成会」の実施。
- (8) 報告会の実施。
- (9) 報告書と同時に提言書を提出。

5. 伊奈町民討議会開催概要

(1) 伊奈町民討議会の目的と成果

住民参画・住民協働によるまちづくりを推進することを目的として、青年会議所と伊奈町で伊奈町民討議会を共催することとしました。

住民基本台帳を使用して無作為抽出した町民に参加依頼書を送付し、参加申込みいただいた方で討議会を行いました。6テーブル各3つ程度のまとめの意見を発表いただき、投票を経て順位付けをしました。また、その内容を考察し、まとめました。

(2) 開催日時

2016年9月4日（日）13：30開会

(3) 開催場所

伊奈町ふれあい活動センター2階 会議室1・2

(4) 参加人数

討議者27名（男性14名、女性13名）

テーブルサポーター13名（男性6名、女性7名）

テーブルサポーター内訳：討議会経験者の町民の方4名、伊奈町商工会1名、伊奈町商工会青年部2名、日本薬科大学学生6名

(5) 参加者選出方法

住民基本台帳より16歳以上の男女1,500名を抽出、参加依頼書を送付（定員30名）

(6) 討議テーマ

魅力ある伊奈町の地域ブランドの創出と発信について

(7) 討議進行方法

- ① 参加者の中で年代・性別・地域がバランスよく集まるように実行委員会があらかじめ決めたグループ各5～6名とテーブルサポーター2～3名で構成。
- ② 情報提供者によるテーマに関する情報提供を受ける。
- ③ グループの中で、発表者を決める。
- ④ グループ毎に討議用紙を使い、意見の提案・集約を行う。
- ⑤ 発表者により、グループ毎の討議結果を発表する。
- ⑥ 参加者1人あたり5ポイント分のシールを使い、同意する意見に投票する。

グループ名	討議者氏名
テーマ：	
まとめ1	
まとめ2	
まとめ3	
残したい意見	

グループまとめ用紙

(8) 当日タイムスケジュール

時 間	内 容
13:30	開会
13:31	主催者代表挨拶
13:35	伊奈町長挨拶
13:40	事業説明（趣旨・進め方など）
13:55	討議（グループ内自己紹介）
14:05	情報提供
14:25	討議：魅力ある伊奈町の地域ブランドの創出と発信 について
15:45	まとめ
16:00	発表・投票
16:30	アンケート記入
17:00	閉会

6. 伊奈町民討議会報告書作成会開催概要

(1) 開催日時

2016年10月1日（土）14:00開会

(2) 開催場所

伊奈町役場3階 第1会議室

(3) 参加人数

公益社団法人埼玉中央青年会議所メンバー 24名

討議者 17名(男性11名 女性6名)

テーブルサポーター10名(男性3名、女性7名)

テーブルサポーター内訳：討議会経験者の町民の方4名、日本薬科大学学生6名

(4) 参加者選出方法

討議会に参加した町民の希望者と公益社団法人埼玉中央青年会議所メンバー及び日本薬科大学学生

(5) 討議方法

グループ分けしたうえで、討議結果を踏まえて意見を出し合い提言をとりまとめる

(6) 討議内容

まず、9月4日に行われた討議会にて各テーブルから出された意見をまとめました。その上で最終的に、伊奈町の地域ブランドと発信方法について『町民提言』のとりまとめを行いました。

(7) 当日タイムスケジュール

時 間	内 容
14:00	開会
14:01	主催者代表挨拶
14:04	事業説明
14:10	討議：魅力ある伊奈町の地域ブランドの創出と発信について
15:15	まとめ
15:35	提言発表・承認
15:45	閉会

7. 伊奈町民討議会報告会開催概要

(1) 開催日時

2016年10月22日(土) 14:00開会

(2) 開催場所

埼玉県民活動総合センター3階 306セミナー室

(3) 参加人数

公益社団法人埼玉中央青年会議所メンバー 17名

討議者 23名(男性12名 女性11名)

※ お買物券進呈対象者27名のうち23名参加(4名は郵送にて送付)

テーブルサポーター2名(男性1名、女性1名 討議会経験者の町民)

日本薬科大学学生 2名(女性2名)

(4) 内容

10月1日に行われた報告書作成会にてまとめていただいたものを、『町民提言』として青年会議所でまとめ、補足説明も含めて皆様にご報告しました。

また、9月4日の討議会に参加いただいた方へ謝礼として、埼玉中央青年会議所より伊奈町のお買物券3,000円分進呈致しました。

Ⅱ 企画から実施までの流れ

【パートナーシップ協定締結】

公益社団法人埼玉中央青年会議所は、この町民討議会をより公平・公正で中立的に開催するため、2016年5月31日に、伊奈町と『パートナーシップ協定』を締結しました。特に、個人情報の取扱いについては協定書内に特記事項として明記し、その責任を明確にしました。この協定締結により、『伊奈町いきいきミーティング～伊奈町民討議会～』がスタートしました。

【事前告知】

A2サイズのポスターを50枚作成し、公共機関を中心に掲示して頂き、開催を告知しました。また、伊奈町の広報紙上でも告知をし、私共公益社団法人埼玉中央青年会議所と伊奈町が、まちづくりを考える過程で町民の声を必要としていることを広く発信しました。



ポスター



チラシ

【事前準備と募集】

5月に伊奈町と締結したパートナーシップ協定をもとに、住民基本台帳を使用し、伊奈町民16歳以上の男女を1,500名無作為に抽出しました。選ばれた1,500名には伊奈町の封筒を使って参加依頼書と不参加アンケートと参加申込書・開催趣旨を発送しました。

発送数1,500通に対して

- ① 参加承諾41名のうち30名には参加決定書と情報提供資料・討議プログラム・事前アンケートを送付しました。(11名は抽選により不参加決定)
- ② 不参加者事前アンケートとして、217通の返信をいただきました。

【不参加アンケート・事前アンケート】

事前アンケートでは、不参加アンケートと参加者事前アンケートの2種類作成し、不参加アンケートは当日どうしても参加できない方に町民討議会への意識調査を実施しました。また参加者事前アンケートでは、参加を表明していただいた地域住民がどのような人たちか（年齢・性別・職業）を中心に調査を実施しました。

【8月20日（土）伊奈町いきいきミーティング 事前勉強会】

テーブルサポーターとして討議会にご協力されることを事前に承諾頂いた町民の皆様、テーブルサポーターの役割とルールについてご説明し、模擬討議を行ないました。



事前勉強会 様子

テーブルサポーターは緊張する討議者の気持ちを和らげる場の盛り上げ役であり、意見を誘導しないことをご説明しました。

「模擬討議」

模擬討議では、前年参加された町民討議会の雰囲気を出していただくべく、今回の討議会と同じテーマで、テーブルサポーターさんにテーブルサポーターの役割について模擬討議を通して、ご理解いただきました。

【9月4日（日）伊奈町いきいきミーティング 伊奈町民討議会】

テーマ：魅力ある伊奈町の地域ブランドの創出と発信について

町民討議会当日は、27名にご参加をいただきました。集まった町民の方々にテーブルに分かれていただき、冒頭の主催者挨拶の後、町長からご挨拶をいただいてスタートしました。進行説明・ルール説明を行った後に、魅力ある伊奈町の地域ブランドの創出と発信についてというテーマで討議を行いました。



吉田理事長 挨拶



大島町長 挨拶



産業振興課 藤村様 情報提供



討議の様子

各テーブルから発表者を決めてもらい一人持ち時間2分程度でそれぞれのまとめを発表していただきました。



発表・投票の様子

【事後アンケート】

事後アンケートでは、実際に参加していただいた方々へ参加してみての感想を中心に調査を実施しました。

【10月1日（土）報告書作成会】

9月4日の町民討議会の結果をもとに、討議会に参加いただいた町民の希望者と公益社団法人埼玉中央青年会議所及び日本薬科大学学生で、報告書作成会を開催しました。討議会で討議に参加された町民の皆様が投票した結果を、公益社団法人埼玉中央青年会議所が集計し、その結果をもとに報告書作成会に参加された町民の皆様が「伊奈町の地域ブランドは・・・です。」と「・・・発信します。」との形での提言を提案されました。



報告書作成会の様子

【10月22日（土）報告会】

10月1日に作成した報告書を伊奈町に提出するための報告会を開催しました。当日は田沢副町長にお越しいただきご挨拶いただきました。取りまとめた内容を説明し、討議者の皆様よりご承認いただきました。



副町長 田沢様挨拶

また、報告会終了後、希望される参加者の皆様と懇親会を行いました。参加者も多く、町のことや普段の生活のことなど、様々な話題が出て盛り上がりました。



懇親会の様子

【謝礼の支払い】

討議会当日に参加いただいた地域住民の方々に謝礼として伊奈町商工会発行のお買い物券3,000円分を進呈しました。これは、参加者に時間を割いていただいていることも理由のひとつですが、町民の代表としての仕事と捉え参加していただくとともに、多様な立場の方々に参加していただけるよう、謝礼の進呈は必要と考え実施しました。

進呈は報告会の最後に行い、当日出席できない方には郵送（受取人払い）にて発送しました。

今後、本報告書と提言は、伊奈町のホームページや公益社団法人埼玉中央青年会議所のホームページ上にて閲覧・ダウンロードをできるようにし、伊奈町の発行する広報紙にて結果報告します。

公益社団法人埼玉中央青年会議所 HP <http://www.jc766.com/>

伊奈町 HP <http://www.town.saitama-ina.lg.jp/index.html>

Ⅲ 討議会結果及び提言

①.討議結果

グループA	永井、杉野、加藤、鈴木、小林	
カテゴリー	個別意見	
ブランド	出生届時に希望者にはバラの苗木	
	バラの栽培教育、絵画展、写真展	
	無線山の桜	
	果樹園が多いので果物を推す	
	小さくても住みやすい町としてのブランド	
	伊奈備前守忠次公を全面に歴史ある町を伝える	
	伊奈町の田舎性	
イベント	B級グルメ	
	夜桜イベント	
	はとバスツアー	
施設	県活をコンサート会場として活用	
	県活の活用	
交通	町内の5駅を活用	
	さいたま市、上尾市はJRもあるが伊奈町にはニューシャトルのみ	
	バラ園にシャトルバス運行	
	ロータリーがあるのにバス停がない	
	ニューシャトル終点あたりに目的の施設や催しが少ない	
	ニューシャトルは伊奈町を上から一望できる	
	ニューシャトル本社のある丸山駅は交通量が多いため橋があると安全	
発信	テレ玉、J:COM	
	アンテナショップ	
	情報の集まる場所(大きな駅)がないため町内会報を作成	
	特産品を広告で広め売り出す	
その他	空き農地にパークゴルフ場を作る	
	若い方の仕事を増やす	
	高齢者に優しい町、健康寿命を延ばす事業	
	まとめ	得票
	バラ園・さくらまつりを前面に出し、まつり開催時は臨時バスを運行 バラの苗木の配布	6
	田舎体験、農業体験を企画し「住みよい田舎の伊奈町」をアピール 福祉の充実 高齢者を元気づける町へ。	5
	旅行会社とタイアップしたバスツアーの企画。梨・ぶどう・忠次の宣伝のためアンテナショップを東京に出す。	3
備考		

グループB	森、西田、長島、井上	
カテゴリー	個別意見	
農作物	町の代表作物の梨の後継者を育て増産できるようにする	
	空いた農地を若い農家に提供できるシステムを作る	
	休眠農耕地を利用して家庭菜園を広げる	
イベント	公民館を利用して町民同士の意見交換	
	JRの下に伊奈物産展	
	高校の文化祭で伊奈町に関連深い物を販売(バラ、梨、ブドウなど)	
	新住民と旧住民の横の繋がりを一つにする	
発信	キャッチフレーズを作る	
	CMで放送する	
	広報いなに宣伝したい企業同士で作ったページを掲載	
	大宮駅のコンコースに伊奈町のイベント期間だけ宣伝する	
	電車(ニューシャトル)のアナウンスで流す	
	SNSで発信する	
	付近の市町村の地域ブランドを宣伝する代わりに伊奈町の地域ブランドも宣伝してもらう	
	大河ドラマ	
	テレ玉、町のホームページ	
	いなまちだよりという冊子を作製しJR駅構内に設置	
交通	大宮駅までの直通電車がほしい	
	志久駅にエレベーターを設置	
その他	町長に県報に執筆してもらう	
	道を広げ交通の便を良くして観光客を増やす	
	税金が町に入る様会社の本社導入	
	商店がほしい	
	空家対策	
	まとめ	得票
	空地・空家の利用も兼ね梨の特産品増産に繋げる	8
	文化祭や駅のコンコースで販売や隣接市町村と協力しテレ玉・SNS・町のホームページ・シャトル内で宣伝。大河ドラマで伊奈を発信	4
	道路・インフラ設備を充実させて、若者をたくさん取り込む	4
備考	線路下に物産店を！	

グループC	藤原、小峯、武田、金嶋、日置、鳴澤、寺尾	
カテゴリー	個別意見	
ブランド	黄金の雫のような取り組みを梨以外でも行う	
	梨、ブドウなど特定の人ではない町民が手掛けた特産品	
	ブランドマップを作る	
	乗馬クラブのある町(桜まつり等にクレイン伊奈とのコラボ)	
ブランド/イベント	ブランド品としてバラの花を一般家庭に配布	
イベント	特産品の梨やブドウなどの商品の試食会	
	東京オリンピックを利用する	
	バーベキューや芋煮会が出来る町	
	自主グループ	
	いつも綺麗な花を咲かせる運動をする	
	高齢者社会の中、旬を味わえるものを運ぶ	
	1か月に1回の交流会	
	婚活イベントを行い若者を集める	
	バラまつり、花火大会を外から認知してもらイベントの開催	
農作物	休耕地を利用して梅の栽培、梅干し等の特産品とする	
施設	県活で前のように映画を定期的に行ってほしい	
発信	伊奈町の歴史をPRする	
	インターネットやSNSを使った町の宣伝	
	バラまつり、さくら祭りの時にコマーシャルする	
	ニューシャトルの中に宣伝を貼る	
	ブランドを発信するホームページを作る	
交通	ニューシャトルが走る町、県活まで誘引する	
	交通面を強化してアクセスしやすくする	
その他	特産品を若い世代に引き継ぐ	
	シニアと若い人達のつながり助け合いながら楽しく和やかに暮らせる町	
	伊奈町のお散歩マップを作る	
	伊奈町は震災もなく平和を感じる	
	シニアパワーの活用で町の活性化(子育て、教育補佐、介護)	
	後継者のない農家や会社のバックアップ	
	SNSなどを利用してブランドの発信	
	広報に出てもらう	
	川をきれいにする	
	まとめ	得票
	特産品とタウンミーティングのPR強化	2
	バラまつりや花火大会などを利用して婚活イベントを行う	11
	ビアシャトルの復活	8
備考	休耕地を利用して梅栽培・加工(住民の手で)	

グループD	外山、青木、クボタ、内藤	
カテゴリー	個別意見	
ブランド	体験型農園	
	サイクリングの町(グルメサイクリングフェスタ開催)	
	文化都市(音楽など)	
イベント	観光農園、農園間を巡るツアー	
	グルメマラソン大会開催	
交通	ニューシャトル間を繋ぐ歩道の整備	
	観光客用の丸山から内宿までの途中下車有効券	
	ニューシャトルのスタンプラリー	
	伊奈町内を流れる水路、小川を歩けるよう整備	
その他	梨とバラのコラボ商品	
	梨とブドウの生産者の拡大	
	農業人口を増加させる	
	ブランド発信に際しておもいやりの気持ちを入れる	
	東北・上越新幹線が分岐する所	
	花火	
	ニューシャトルのお菓子	
	緑空間の確保	
	雑木林の保存が必要	
	バラ園を大きくする(駐車場拡大)	
	植樹し桜並木を保存	
	自然観察林でのカブトムシ取り	
	雑木林のきれいに整備する	
	ガンについての教育	
	まとめ	得票
	プチ自然体験ができる伊奈町(梨・ブドウ狩り・自然観察林散策・サイクリング・マラソン・フェス等を開く)	15
	ニューシャトルのスタンプラリー等で駅間をつなぐ、駅周辺とバラ園までの道のりにバラ、自由に乗り降りができるフリー切符を毎日発行)	3
	休耕地、雑木林の有効利用(観光農園を増やし、きちんと整備された田舎をアピール、年配者の有効活用)	5
備考	癌センター・薬科大学等の医療関係を上記のプランに繋げる	
	内宿から他の駅へ沿線拡大	
	バラ園の駐車場を増やす	
	【発信方法】駅等にポスターを貼る。各交通機関、商工会議所、インターネット配信	

グループE	橋本、北澤、吉野、小林、甲斐	
カテゴリー	個別意見	
イベント	バラまつり	
	バラ祭りの時に内宿駅からバラをいっぱい	
	バラ祭りに参加するイベント団体募集	
	バラ祭り期間中3回目は無料にする	
	バラ園の入り口をもっと派手にする	
	バラ祭りの際簡易トイレの増設	
	バラを使った盆栽の販売	
ブランド	バラの品種を増やす	
	一年中楽しめるバラの品種改良	
	各地域の公園や空地の再利用にバラを	
	バラを広める	
交通	シャトル駅周辺の整備	
発信	役場と水道課にて垂れ幕でイベント掲載	
	町の食品アピールが足りないのでスピーカーでアピールする	
	メディア情報の共有(webやFacebook)	
	ローズちゃん、ローズくんのグッズを売る	
	目立つキャラクターを作る	
	LINEスタンプを作る	
施設	他市とのコラボレーション	
	町民が県活を利用する時に利用しやすくする	
その他	物産館	
	認知症予防のための他にない取り組み	
	新しい本を図書館に入れる	
	街灯を増やす	
	商店街への資金サポート	
	企業を増やす	
	大手有力企業を誘致	
	緑が多く育てやすい	
圏央道(菖蒲SA)の活用		
	まとめ	得票
	一年中楽しめるように品質改良し、各地域の公園、空地を再利用する	5
	キャラクターの作成、グッズの販売、バラの盆栽、ニューシャトルの車両にバラ柄をラッピング、各駅にバラのポスターを貼る	13
	県民活動センターを町民が利用しやすくする、町民の特権がほしい	3
備考		

グループF	松ちゃん、ろく、たか、金子、よっしー、梅ちゃん	
カテゴリー	個別意見	
イベント	町のブランドと町内学校との交流イベント	
	町内イベントに関心がない人達への参加方法	
	バラ園の活用	
	町内一周のスタンプラリーイベント	
	スポーツ施設を大会などでアピール	
	いなまつり、花火、花見	
交通	いなまる、けんちゃんバス	
	ニューシャトルに駅ビル	
	ニューシャトルにエレベーター	
	ニューシャトル周辺の整備	
	鉄道博物館の奥まで動員する	
	町内のバスを利用しやすいように	
	人が寄り付く公園整備	
	バスラッピング	
発信	告知	
	スマホアプリ	
	外国人向けのブランド発信(お土産や話題になるもの)	
その他	町に住んでいる人への割引を導入	
	テーマパーク誘致	
	伊奈町備前太鼓	
	伊奈学園との連携	
	子供たちに広告用の絵を書いてもらう	
	一次産業の減少	
	多くの人を使いやすい散歩ができる場所(日陰を歩きたい)	
	県と町の距離感	
	いつまで郡のままなのか	
	乳児の集まれる場所	
	アロマ	
	若者が伊奈町で働きたいと思える地域にする	
	役場が古い(町の顔なので)	
公立学校が少ないので教育環境を上げてアピール		
	まとめ	得票
	町のイベントと1年通して企画する。スタンプラリー+抽選会などで盛り上げる	7
	公共交通機関の利用価値を上げる。いなまるを蓮田市・上尾市とリンクさせて人の流れを作る	6
	スマホのアプリ・SNSの活用、子供達が広告用の絵を書いてバスシャトルに飾る	11
備考	いつまで郡のままなのか?	

②各グループまとめ(10月1日報告書作成会意見)

(※ 討議会のグループではなく、今回は4グループに分かれ、新たなグループ編成で意見を出し合いました。)

町民提言

テーマ： 魅力ある伊奈町の地域ブランドの創出と発信について

グループA

青木、寺尾、井上、若杉、外山

伊奈町の地域ブランドは・・

1	バラ園
2	農家・農業
3	イベント

・・発信します。

1	ツアーを行う(チラシ・バラ園・体験型農業・イベント)
2	インターネットの活用
3	交通機関等ポスター

町民提言

テーマ：魅力ある伊奈町の地域ブランドの創出と発信について

グループB 藤原、森、よっしー、松、クボタ

伊奈町の地域ブランドは・・・

1	バラ園の充実・拡大
2	無線山の桜と乗馬クラブ、グリーンロードの連携
3	バラブランドを利用して婚活イベント

・・・発信します。

1	伊奈町から公式ツイッターで情報を定期的に発信する
2	いなまるにポスターなどを貼ってイベントを宣伝する
3	ニューシャトルの発信音をバラをイメージしたメロディにする

町民提言

テーマ：魅力ある伊奈町の地域ブランドの創出と発信について

グループC 小峯、小林、橋本、甲斐、目見田

伊奈町の地域ブランドは・・

1	バラです。
---	-------

・・発信します。

1	スタンプラリーカード(伊奈バラポイント)を作成します。 詳細は、10ポイントで伊奈商品券。春は、さくらまつり、バラまつり。夏は、花火。秋は、梨、ブドウ、秋バラまつり。冬は、イベント(B級グルメ、展覧会等)。SNSを利用して公開する。必要な情報をメール配信。登録制でポイント加算する。
---	--

町民提言

テーマ：魅力ある伊奈町の地域ブランドの創出と発信について

グループD サイトウ、たか、イズミ、ヘキ、すずき、内藤

伊奈町の地域ブランドは・・

1	緑あふれる町(バラ・果物・桜・植物・自然)
2	田舎らしさ(静か・緑が多い・田んぼコンサート・街がきれい・農業)
3	住み良い町(医療・老若親和の町・年寄り子供交流推進の町・老後安心・人に優しい公的施設の使いやすい町・サロン)

・・発信します。

1	既存施設を有効利用(バス・ニューシャトル、歴史ある町を伝える、県活の中の町コーナー活性化、大学を通して)
2	新たな発信方法(SNS、アプリ、ポスター、バラの香り、ブランドマップ、キャッチコピー)
3	各種イベント(町民綱引き大会、月例町政を聞く会、秋刀魚焼きまつり、イベントの通年化)

町民提言

テーマ: 魅力ある伊奈町の地域ブランドの創出と発信について

伊奈町の地域ブランドは・・・

- 300種4800株を超えるバラが咲き乱れる県内最大級の伊奈バラです。
- 水と緑とふれあうことができる自然環境の豊かさです。
- 暮らしを豊かにする都市農業です。

・・・発信します。

- 伊奈バラを活用しバラまつり、さくらまつり、花火大会などでイベントを行い発信します。
- 緑豊かな自然とのふれあいを通じて発信します。
- 伊奈町の物産は、伊奈ローズちゃん、伊奈ローズくんのキャラクターを統一ロゴとして伊奈町ブランドを発信します。

【補足資料】

魅力ある伊奈町の地域ブランドの創出と発信について

伊奈町の地域ブランドは・・・

1	300種4800株を超えるバラが咲き乱れる県内最大級の伊奈バラです。
補足説明	バラ園の拡充や駅周辺からバラ園までの道のりの整備や、一般家庭へバラの苗木配布などを行い、バラのまちという観光振興をさらに図るという提言です。
2	水と緑とふれあうことができる自然環境の豊かさです。
補足説明	緑豊かな自然が体験できる企画などで自然との関わりを深めていける地域づくりをしていくという提言です。
3	暮らしを豊かにする都市農業です。
補足説明	新鮮で安全な農産物の供給、農業体験や交流活動の場の提供、災害時の防災空間の確保や緑とゆとりのある景観、環境の保全といった多様な役割を果たしている田園を維持し、都市農業の振興をしていくという提言です。
備考	

・・・発信します。

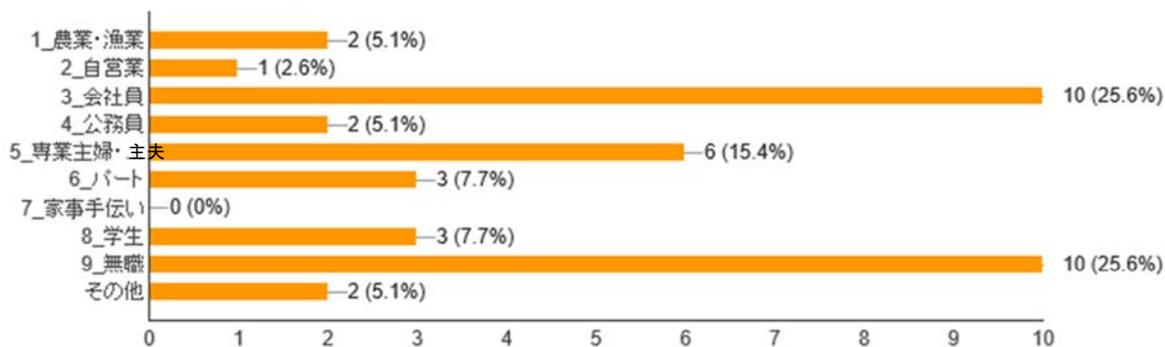
1	伊奈バラを活用しバラまつり、さくらまつり、花火大会などでイベントを行い発信します。
補足説明	バラまつりなど既存イベントに婚活イベントや四季のイベントを利用したスタンプラリーカードなど新たなイベントを行い活性化させ伊奈バラを発信するという提言です。
2	緑豊かな自然とのふれあいを通じて発信します。
補足説明	無線山の桜や屋敷林、平地林、農地、綾瀬川及び原市沼川の水辺などを活用し、自然観察林散策や梨・ぶどう狩り、農業体験、サイクリング大会、マラソン大会などのイベントを行えるよう整備し自然にふれあうことで発信します。
3	伊奈町の物産は、伊奈ローズちゃん、伊奈ローズくんのキャラクターを統一ロゴとして伊奈町ブランドを発信します。
補足説明	学校の文化祭や駅のコンコース、アンテナショップ、線路下に物産店など伊奈町の物産を購入できる場所を充実させるとともにキャラクターを統一ロゴとして発信します。
備考	

IV アンケート結果

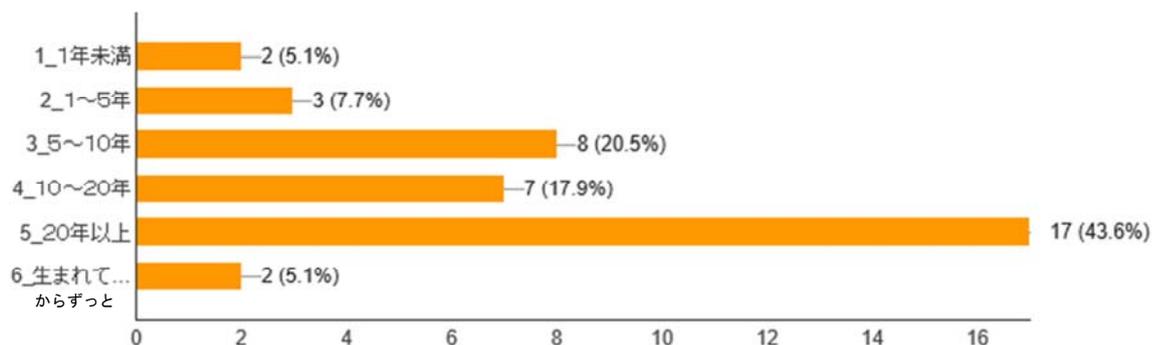
1 参加者開催前 アンケート結果 (回答者数 39 名)

1. 基本情報

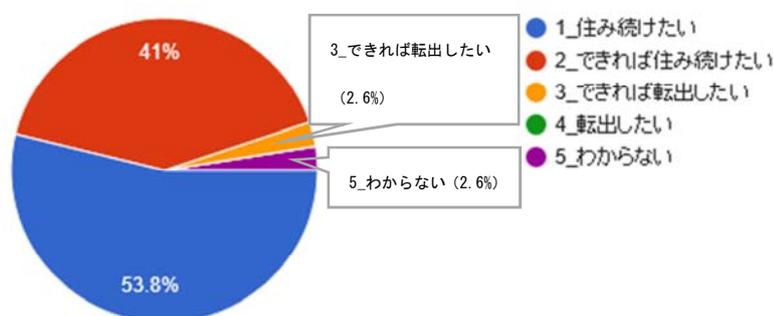
①あなたのお仕事について



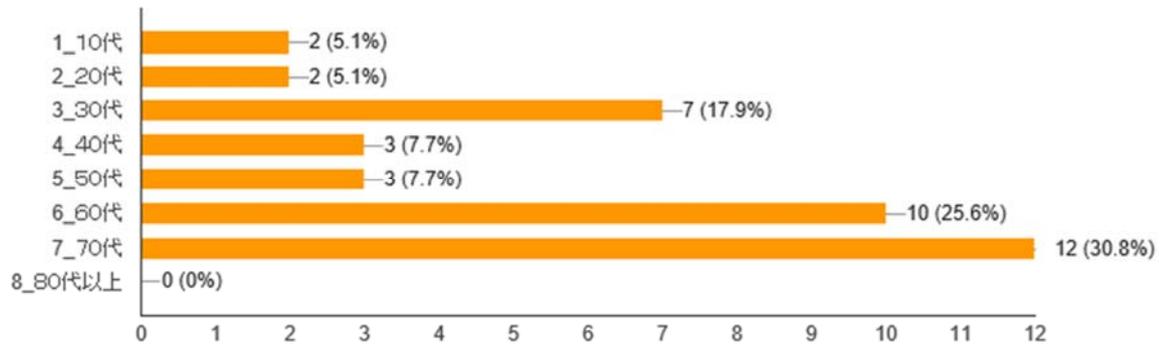
②伊奈町にお住まいになって何年ぐらい経ちますか？



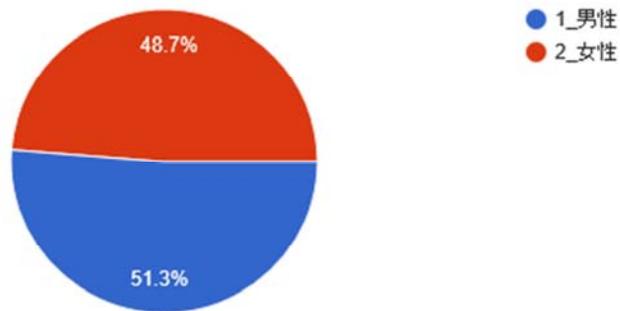
③伊奈町への定住意向



④年齢

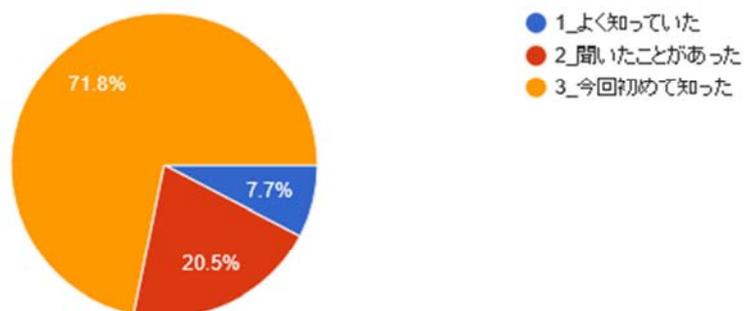


⑤性別

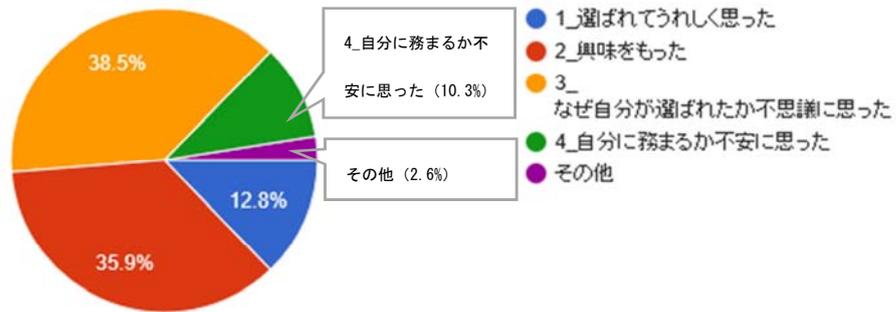


2. 町民討議会について

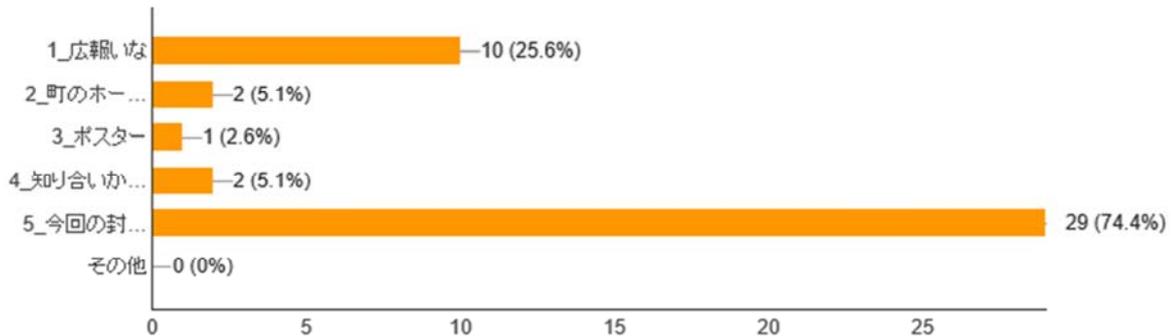
①「町民討議会」という町民参加の方法について



②参加依頼書を受け取った時、どう思いましたか？

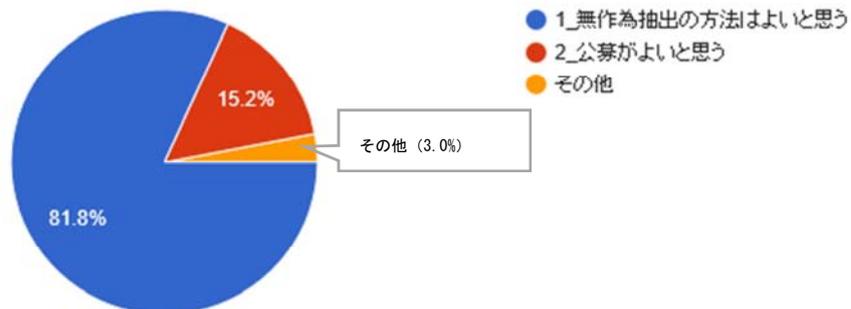


③「伊奈町いきいきミーティング」を広報で目にしたものについて

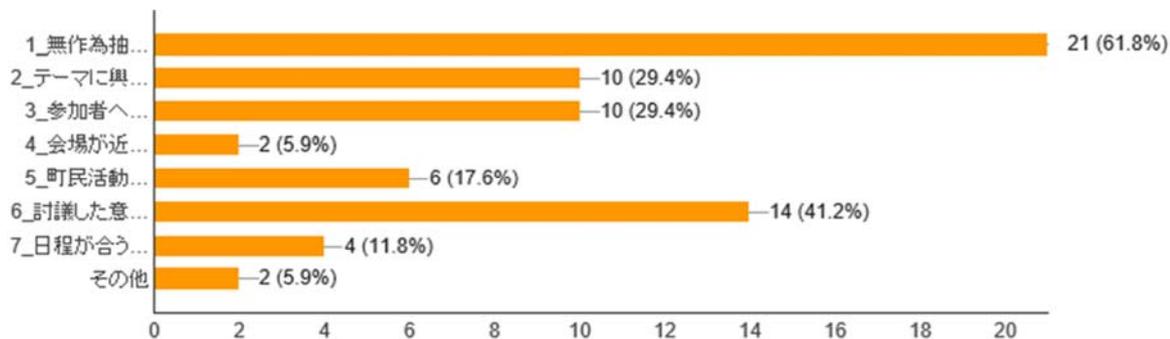


1_広報いな 2_町のホームページ 3_ポスター 4_知り合いから見せてもらった 5_今回の封書で初めて目にした

④住民基本台帳から無作為抽出して参加依頼書を送付することについて

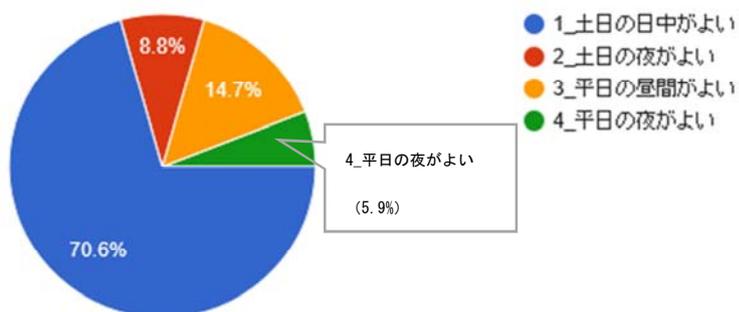


⑤ご参加いただいた理由について



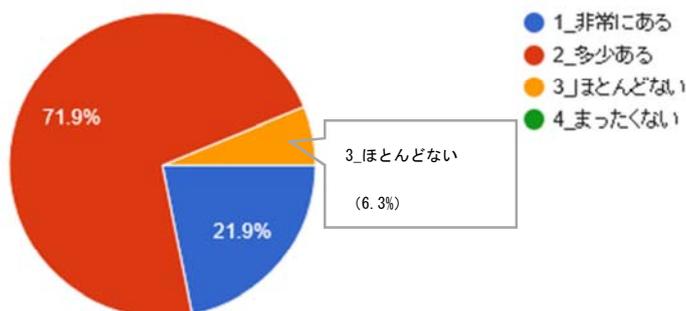
1_無作為抽出により選出され参加依頼書が届いたから 2_テーマに興味があったから 3_参加者への謝礼（商品券）があったから 4_会場が近かったから
5_町民活動を始めてみたいと思ったから 6_討議した意見が町政に届けられるから 7_日程が合うので

3. 開催時期・日程について

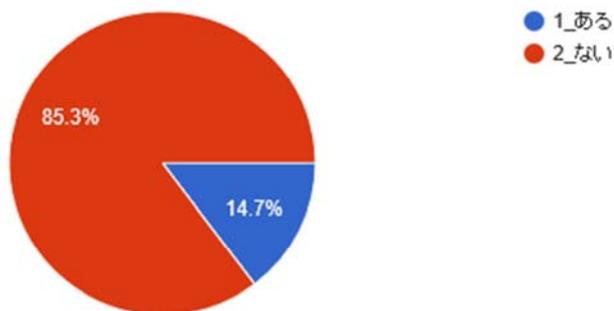


4. 町民参加の状況等について

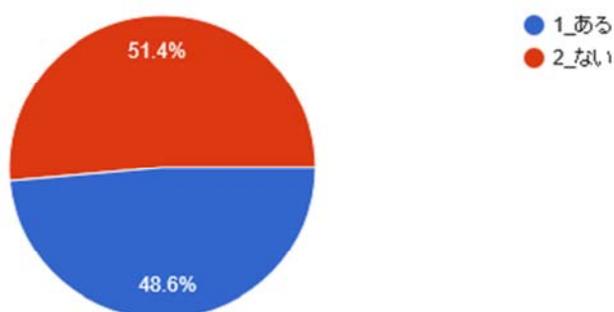
①あなた自身は、行政への町民参加に関心がありますか？



②あなたは、これまでに行政が町民を対象に実施する審議会や委員会、住民説明会、パブリックコメント、アンケート調査などに参加したことはありますか？

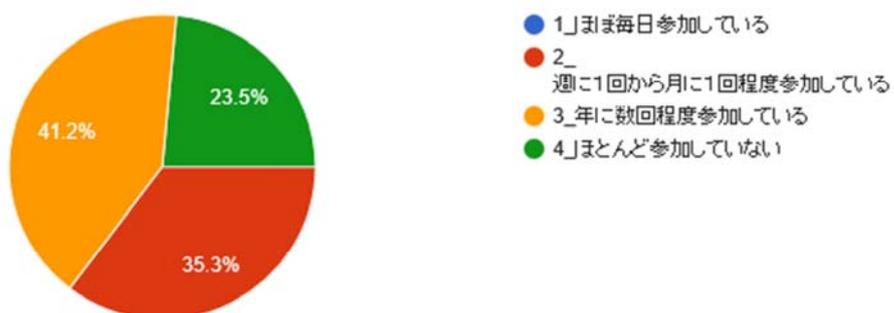


③あなたは、今まで地域における町民活動に関わったことはありますか？

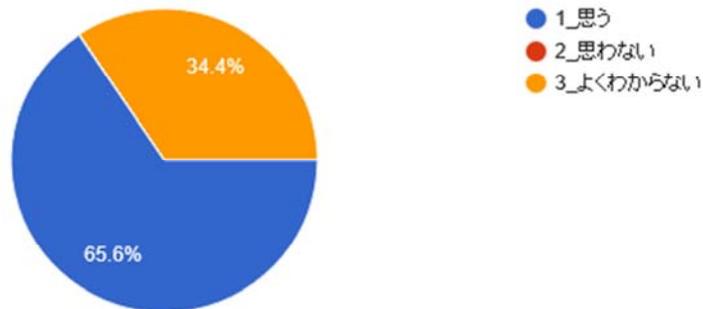


※上記③で、「ある」に☑した方みの回答

この1年間に地域の活動（自治会、地区協議会、ボランティア活動、NPO活動、サークル等の生涯学習活動など）に参加したことがありますか？

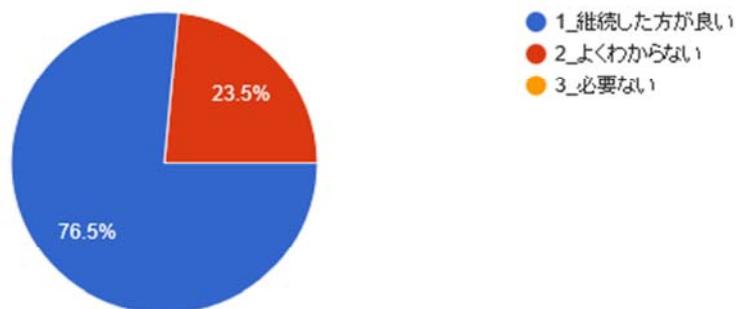


④今後、町民活動に関わって行きたいと思いませんか？



5. 町民討議会の継続について

伊奈町民討議会は、2011年より進めており、今年が6年目となりました。今後も継続していった方がよいと思いませんか？



※意見

- ・ 過去5年の資料を見た記憶がなく、どのように活用されているのか知りたい。
- ・ 伊奈町は町民サービスにもっと力を入れるべき。町物産をより広げるべし。
- ・ 伊奈町に転居して38年……。おかげ様でとても元気に、健康で家族全員が幸せに過ごしています。役場にお世話になり……。勉強させていただきこの通知が届いた時、感謝の意を込めて参加いたし、できることがありましたら、と思いました。
- ・ 住人等の意見を聞いて、その意見を行政に反映させてほしい。
- ・ 伊奈町の規模だと政治や行政との距離が近いので、このような集まりは大変有意義だと思う。
- ・ 意見が片寄りすぎていない。その意見が確実に役立つものであれば素敵だと思う。
- ・ 参加してみないとわからない。討議した意見がどのようなになるのか？
- ・ バブル期に伊奈町に家を構えた。当時「YOU&I計画」で大宮市、浦和市、与野市、伊奈町が合併するという話だった。いつしか立ち消えてしまった。もっと魅力ある伊奈町にしたいと念願

している。ずっと住み続けたいと思える様な町→市にしたい。

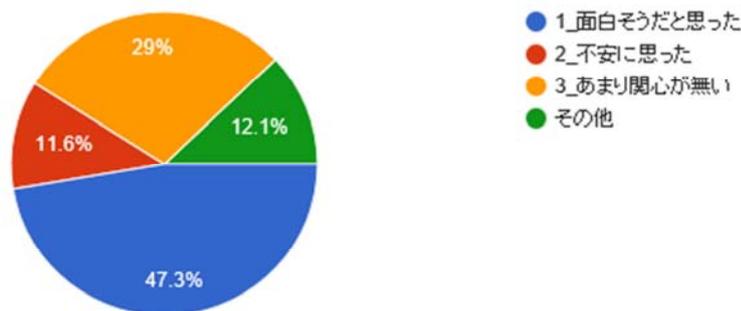
- これからはますます高齢者が増えて来ます。個々人の健康寿命を延ばして元気で過ごせるような政策を考えて頂ければと思います。
- 今回選んで下さいますとありがとうございます。健康をなるべく保持、伊奈町の未来をみてゆきたいです。

委員会考察：

本討議会も今回で6回目となりますが、討議会の存在を本案内通知（無作為抽出）での初見という結果が未だ大勢を占めました。よって、アナウンスに更なる改善が必要と考えます。且つ、高齢者が多くを占めているため、そのアナウンス方法も同層に受け入れ易い方法や媒体で考える必要があります。また、地域活動への参加に高い興味を持つが、今までにその様な経験が少ないという結果から、討議意見が町政に反映される工夫、討議が行い易い運営方法に更なる工夫が必要です。

2 不参加者事前 アンケート結果 (回答者数 217 名)

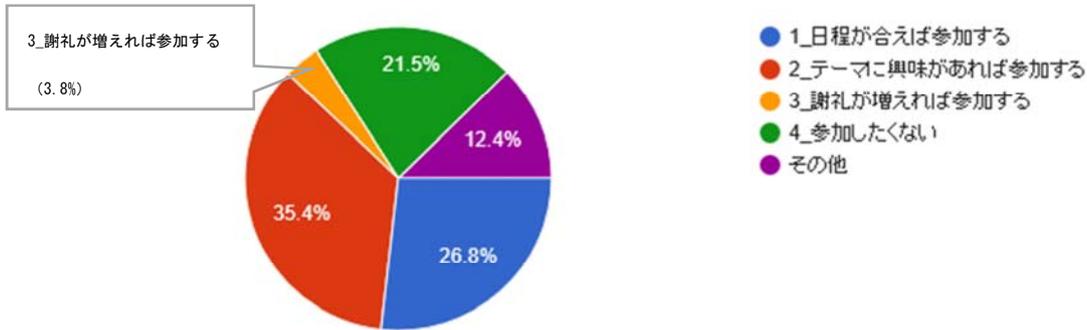
1. 伊奈町いきいきミーティング「伊奈町民討議会」の参加依頼書を見たとき、どのように感じましたか？



※その他の意見

- 漠然として必要性がよくわからない。
- 託児があれば。
- めんどうと思った。
- 交通がない。
- 会があるのを知らなかった。
- 住人の声を取り入れる活動に好感を持った。
- どうして私にきたのか？
- とても良いことだと思う。
- 土日が休みではない。
- 町民との議会は良いと思った。

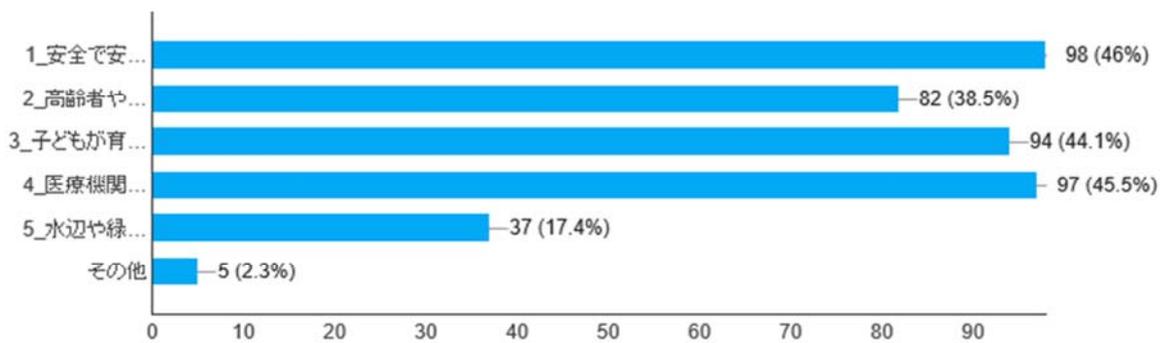
2. 次回このような参加依頼書が届いたら、どうしますか？



※その他の意見

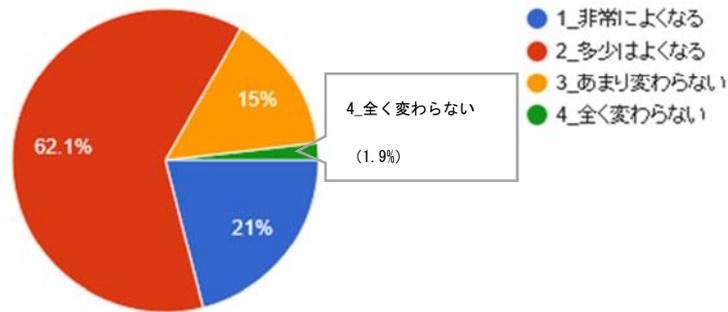
- ・ 体調不良。
- ・ 80代以上で能力的に無理。若い方がいいと思います。
- ・ 子どもOKなら参加。
- ・ 議会の時間が長いので参加しにくい。

3. 10年後の伊奈町がどのようなまちになっていることを期待しますか？

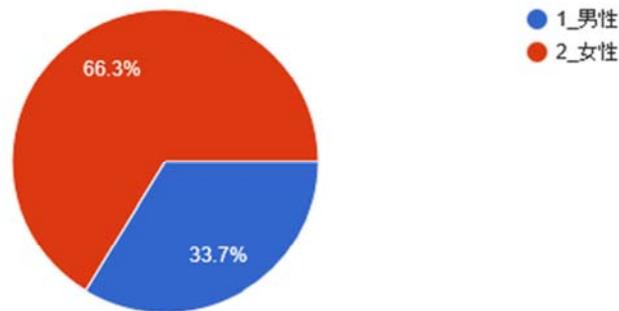


- 1_安全で安心して暮らせるまち 2_高齢者や障害者などを大切にする福祉が充実しているまち 3_子どもが育つ環境や教育環境のよいまち
 4_医療機関や保健サービスが充実しているまち 5_水辺や緑など自然環境がよいまち

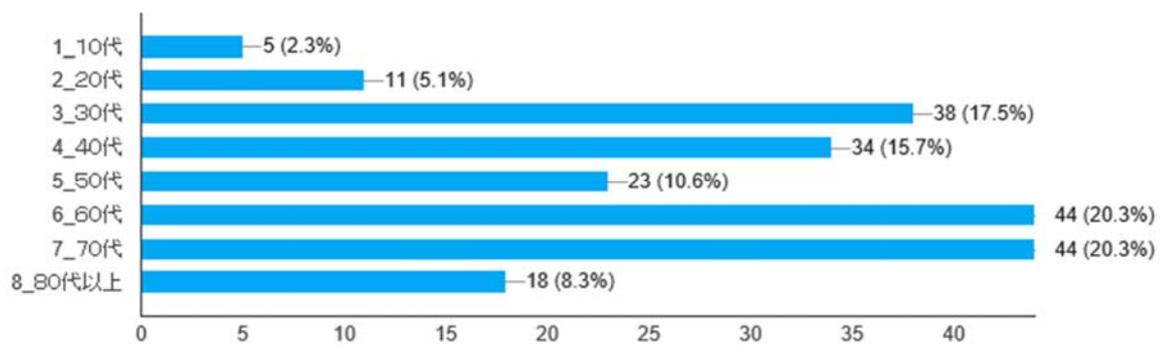
4. 町民参加が可能になれば、伊奈町の政策やまちづくりがより良いものになると思いますか？



5. あなたの性別・年代は？



5. あなたの性別・年代は？



委員会考察：

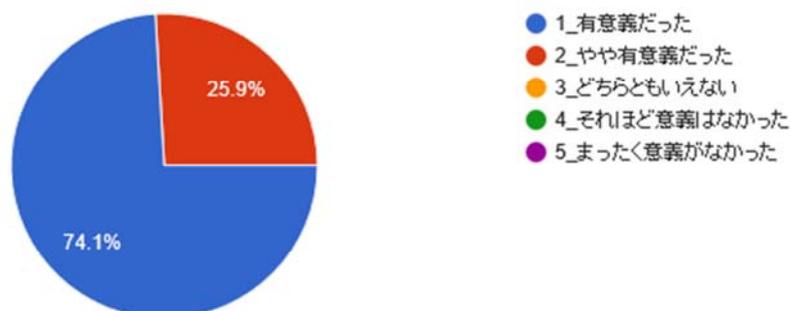
無作為抽出による参加依頼の結果、幅広い層の方々にご参加いただきました。子育て環境の充実、福祉環境の充実という伊奈町への希望からも、幅広い世代間の参加が読み取れます。

また、町民参画がまちづくりに好影響を及ぼすという考えが半分以上となった事から、討議意見が町政に反映される更なる工夫が必要と考えます。

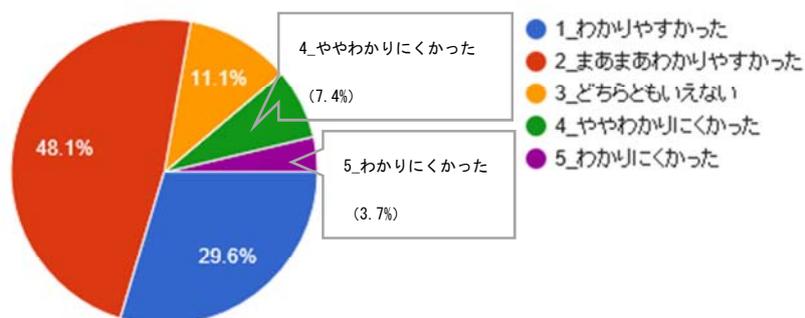
V 討議会検証アンケート・総括

1 参加者開催後 アンケート結果 (回答者数 27 名)

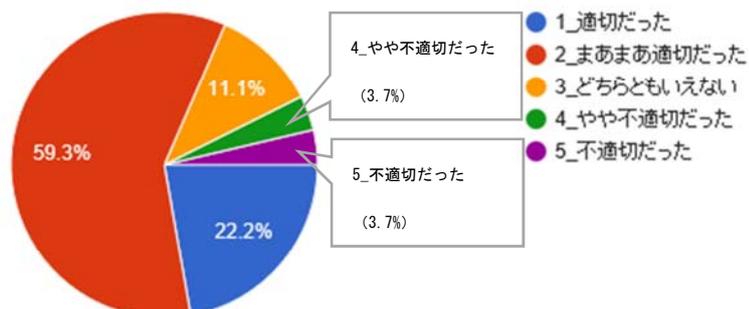
1. 討議会に参加されていかがでしたか？



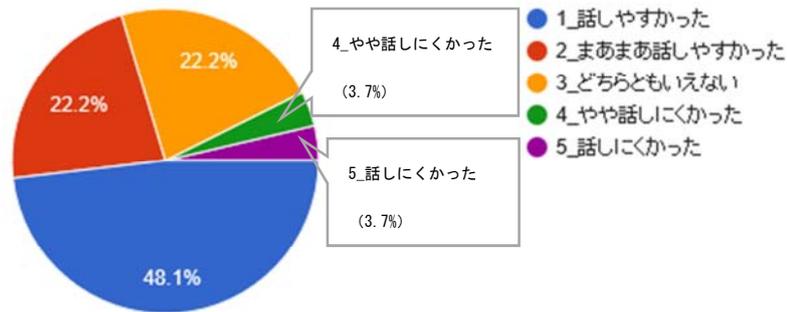
2. 討議の進め方はいかがでしたか？



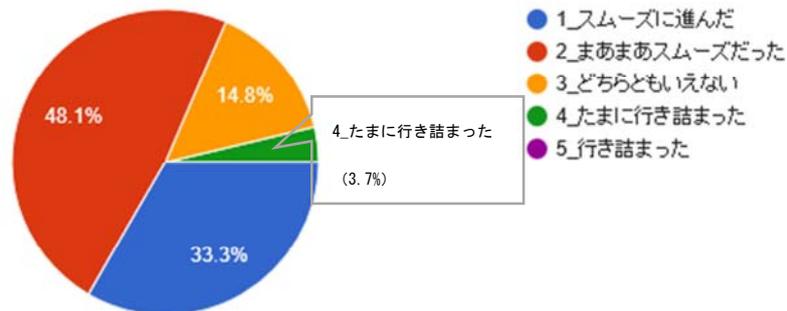
3. テーマに関する情報提供は適切でしたか？



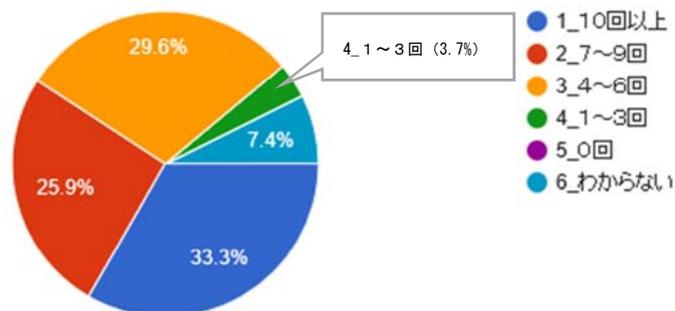
4. 討議テーマは話やすかったですか？



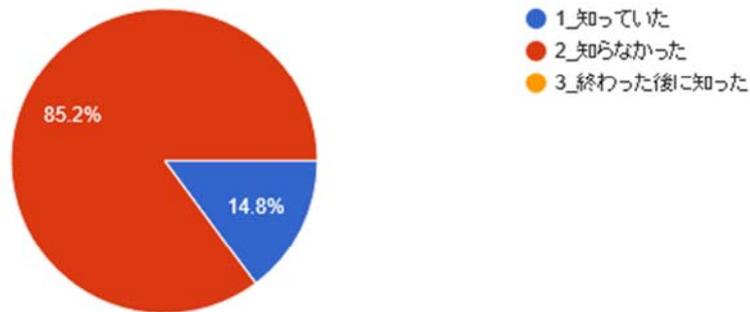
5. チームごとの話し合いはスムーズに進みましたか？



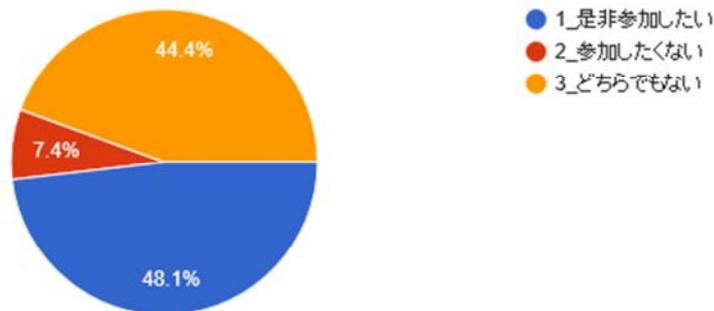
6. テーマを討議する際、だいたい平均して何回くらい発言されましたか？



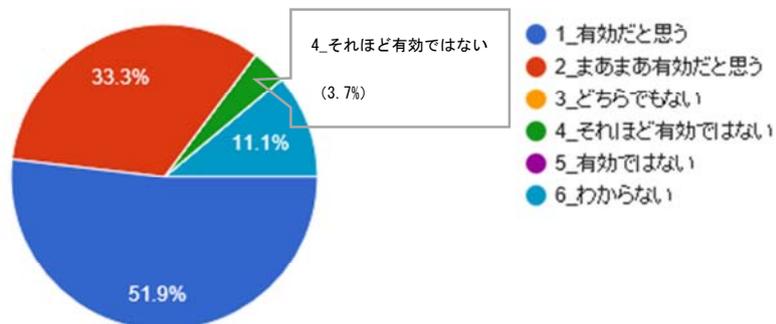
7. 昨年も同じように町民討議会が開催されていましたが知っていましたか？



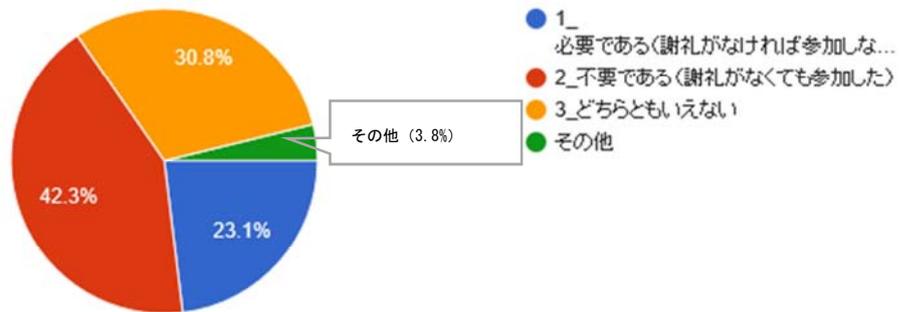
8. 来年も開催されるとしたら参加したいと思いますか？



9. 町民討議会は町民の声を町政に反映させるのに有効な方法であるとされておりますが、実際に参加してみてどう思われましたか？



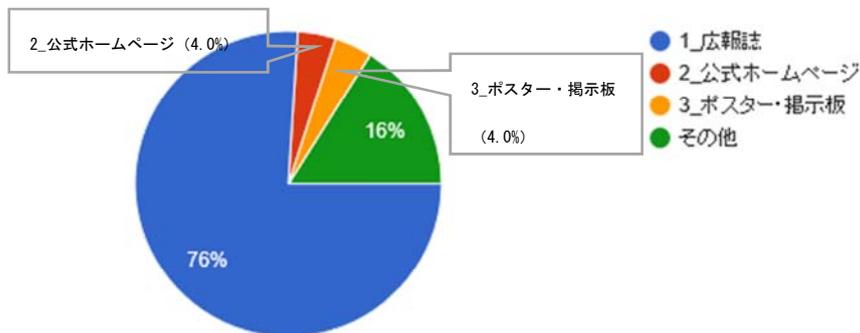
10. 謝礼の有無と参加決意の関係についてどのようにお考えですか？



※その他の意見

- ・ 謝礼がなくても参加したが、あると家族への言い分がたつ。

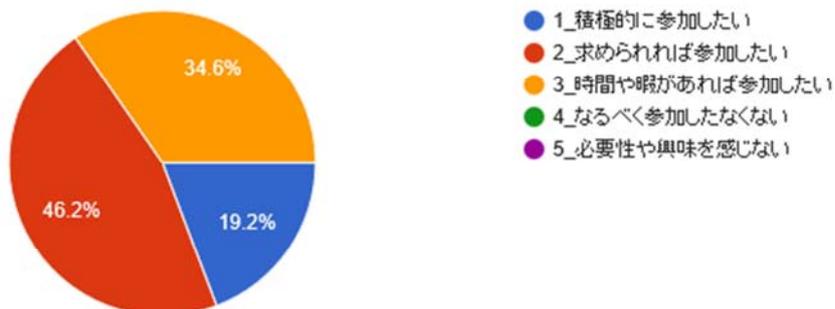
11. 地域活動の情報についてどのような方法や媒体で発信されると有効だと思いますか？



※その他の意見

- ・ 新しい発信方法があっても良いと思います。アプリやSNS など
- ・ メール、アプリ、TV
- ・ jcom
- ・ ラジオ

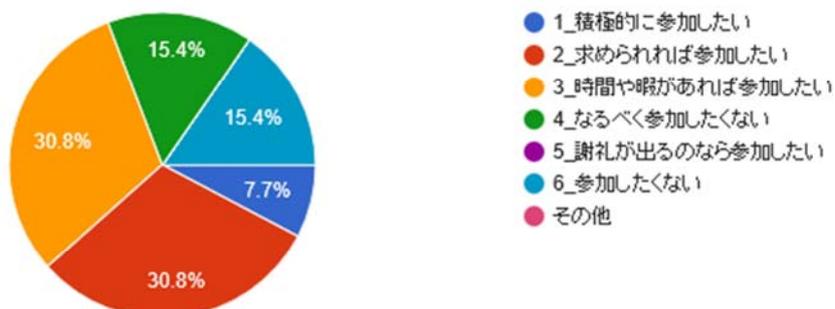
1 2. これからの地域活動への参加についてどのようにお考えですか？



1 3. 1 2. ④なるべく参加したくない、⑤必要性や興味を感じないと答えた方へ伺います、それはなぜですか？具体的にお書き下さい。

この質問には回答がありませんでした。

1 4. 次回同じような討議会を行った場合、今度はテーブルサポーターなどの運営側でのご参加はいただけますか？（運営側となりますと謝礼はございません。）



15. 町民討議会について、ご意見・ご感想などをご記入下さい。(内容は自由です)

- ・ 町のことを真剣に考える良い機会になりました。みなさんが考えた案が少しでも反映されることを祈ります。ありがとうございました。
- ・ 年れいのちがう方々の意見が聞けてよかったです。
- ・ 8年住んでいるが、知らないことが多かった。このミーティング事態がもっと告知等して、町民に知ってもらった方が良いと思う。
- ・ 情報提供も事前に資料を頂けると助かります。
- ・ 防犯、スポーツ倶楽部、空家、空農地他
- ・ 付せんを使つての討議は単純化しすぎて、テーマを横のつながりとしてより拡大して全体がつながっていく様な話し合い方でないと、町全体と将来に渡つての展望が開けていかない。もっと大きな視野で話し合いたかった。
- ・ 事前資料に「会の進め方」はよく書かれていましたが、「何を話すのか」わかりにくく、参加者の意識の差が大きかった。
- ・ サポーターも同席するなら意見をいうべきでは？他人が席にいる感じがでる。・伊奈町住人の顔が見られたのはよかったです。・サポーターがいるなら役割分担をしない方が円滑になると思う。
- ・ グループ討議はできれば1部屋に2グループ程度としてはどうか？
- ・ 道路行政について。
- ・ テーマの絞込みが必要。自由テーマ発案は案外に難しい。

委員会考察：

参加してみたの感想では、有意義だった、楽しかったという意見を多くいただきました。

討議の進め方においては、わかりやすかったという結果を多くいただきましたが、参加者の意識格差、サポーターの役割改善という意見もあり、更なる改善の必要性を感じました。

今後も伊奈町が住み良い街となる様、しっかりと企画・運営に努めてまいります。

參考資料

参考

「平成28年度伊奈町民討議会」の実施に関する協定書

伊 奈 町

公益社団法人埼玉中央青年会議所

「平成28年度 伊奈町民討議会」の実施に関する協定書

伊奈町（以下「町」という。）と公益社団法人埼玉中央青年会議所（以下「青年会議所」という。）は、普段声を発する機会の少ない町民が町制へ参加するきっかけをつくり、町民参加・町民協働によるまちづくりを推進するため、無作為抽出による町民がまちづくりの課題について討議する「平成28年度 伊奈町民討議会」（以下「町民討議会」という。）を共催するものとし、その運営等に関し、次の通り協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定書は、町民討議会の開催に伴う個人情報の取扱い並びに町と青年会議所の役割分担及び経費の負担を明確にすることを目的とする。

（共催に関する原則）

第2条 町と青年会議所は、お互いの立場を理解、尊重し、対等なパートナーとしての関係を保つように心がけるとともに、多様な町民の意見を集め、中立性、公平性及び公正性を担保しながら、町民討議会の開催に至る過程やその成果について町民に公開するものとする。

（個人情報の保護）

第3条 青年会議所は、個人情報保護のため、別紙「個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。

（役割分担と経費の負担）

第4条 町と青年会議所の役割と責務は次のとおりとする。

1 青年会議所の役割と責務

（1）町民討議会を円滑に実施するための準備委員会（担当委員会）組織を設置し、その運営に当たるものとする。

（2）町民討議会の開催を広く町民に周知するため、広報活動に当たるものとする。

（3）町民討議会の内容及びその手法等について報告書を作成し、町に提出するものとする。

（4）町民への参加依頼書の発送の準備、町民からの参加申込書の受付及び参加者の決定を行うものとする。

（5）町民討議会の開催場所を確保するものとする。

（6）開催に係る町職員の人件費、町民への参加依頼書の発送費用、町民の参加決定書の発送費用以外の全ての経費を負担する。

2 町の役割と責務

- (1) 開催に伴う打ち合わせに参画する。
- (2) 町民討議会の開催を広く町民に周知するため、町の広報誌やホームページ等を活用し、広報活動に努めるものとする。
- (3) 住民基本台帳から参加候補者の無作為抽出作業を行うほか、町民への参加依頼書の発送費用、町民への参加決定書の発送費用を負担するものとする。
- (4) 町民討議会の討議テーマ決定に当たっての協議及び関係する情報を提供するものとする。

(有効期限)

第5条 この協定書は町と青年会議所との合意をもって発効し、本事業が終了した時点で失効するものとする。

(協定の解除)

第6条 町、青年会議所の双方あるいは片方より協定締結後やむを得ない状況により、本事業の継続が困難あるいは不可能な状況となった場合には協議の上事業を中止あるいは延期することができ、本協定も解除できるものとする。

(その他)

第7条 本協定に定めのない事項で、町民討議会を実施する上で必要と認められるものについては、町と青年会議所が協議の上決定するものとする。

この協定書の締結を証するため、本書2通を作成し、町及び青年会議所双方記名押印のうえ、各自1通を所持するものとする。

平成28年5月31日

北足立郡伊奈町大字小室9493

伊奈町 町長 大島 清

さいたま市大宮区仲町2-15 矢島ビル3階
公益社団法人 埼玉中央青年会議所

理事長 吉田 浩士

伊奈町民の皆様

2016年7月吉日
伊奈町長 大島 清

公益社団法人埼玉中央青年会議所
理事長 吉田 浩士

伊奈町いきいきミーティング「伊奈町民討議会」 参加のお願い

拝啓 初夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、公益社団法人埼玉中央青年会議所と伊奈町では、「平成28年度伊奈町民討議会」の実施に関する協定書』の締結により、『伊奈町いきいきミーティング「伊奈町民討議会」』を下記の通り開催することとなりました。

この町民討議会への参加者として、伊奈町が住民基本台帳から16歳以上の伊奈町民男女計1,500人を無作為に選出させていただきました。

つきましては、別添『伊奈町いきいきミーティング開催趣旨』をご覧ください、町民討議会の趣旨を御理解の上、御参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日 時 2016年9月4日(日) 13:00受付開始
13:30~17:00
2. 場 所 伊奈町ふれあい活動センター(ゆめくる)2階 会議室1・2
住所:伊奈町大字小室9493 TEL:048-721-2111
3. テーマ 討議テーマ
「魅力ある伊奈町の地域ブランド」
4. 参加定員数 30人
5. 謝 礼 伊奈町共通お買い物券3,000円分
6. 参加申し込み方法(アンケートの返信方法)
(1)電話(2)FAX(3)郵送(4)メールのいずれかの方法で、下記の申し込み先までお申し込みください。
お申し込みの際には、必要事項(住所、氏名、性別、年齢、電話番号)をお知らせください。
7. 申し込み締め切り
7月30日(土)
8. 参加者の決定について
応募者が30人を超えた場合は、抽選により決定します。参加決定者にはすみやかに参加決定通知書を送付いたします。

9. 御参加いただける方

この依頼書が宛てられたご本人のみとなります。(他の御家族の参加はできません)

10. 主催団体について

本討議会は、公益社団法人埼玉中央青年会議所が主催し、共催は伊奈町、協力は伊奈町商工会、伊奈町商工会青年部にさせていただいて運営いたします。

11. 個人情報の取り扱いについて

参加申し込みの際にいただいた個人情報のうち、氏名、性別、年代、お住まいの地域については、申し込みを行った時点で、伊奈町個人情報保護条例に基づき、申込者本人の同意をいただいたものとし、町民討議会に関する事務の目的に限り使用いたします。

12. 記録について

当日は討議会、報告書作成時に使用する会場内の写真撮影、ビデオ記録を行います。また、撮影された写真に関しては報告書内で使用させていただくこともございますのであらかじめご了承ください。

13. 日程

- ①町民討議会 : 2016年09月04日(日) 13:30~17:00
- ②報告書作成会 : 2016年10月01日(土) 14:00~16:00
- ③報告会 : 2016年10月22日(土) 14:00~16:00

会場:

- ①町民討議会 : 伊奈町ふれあい活動センター(ゆめくる) 2階 会議室1・2
- ②報告書作成会 : 伊奈町役場3階 第1会議室
- ③報告会 : 埼玉県県民活動総合センター3階 306セミナー室

※①の町民討議会にご参加できない方でも③の報告会には参加できます。

※②の報告書作成会は、①の町民討議会に参加していただいた方のみ御参加が可能です。

※①の町民討議会にご参加いただいた方のみ謝礼を進呈します。

※交通費の支給はいたしません。尚、埼玉県県民活動総合センターにつきましては、会場の駐車場は最初の1時間は無料です。最大400円程度御負担いただくことがあります。

14. 申し込み、お問い合わせ、アンケート返信先

公益社団法人埼玉中央青年会議所 市民協働委員会

〒330-0845

さいたま市大宮区仲町2-15 矢島ビル3F

電話: 048-647-3315

FAX: 048-647-3316

メール: inatougikai@gmail.com

(担当者: 委員長 関亦 郁夫、副委員長 厚川 尚史)

伊奈町いきいきミーティング

～伊奈町民討議会～



開催趣旨

町民討議会とは、住民基本台帳から無作為抽出によって選ばれた町民が集まり、まちづくりに関するテーマについて情報提供を受けた上で話し合い、そこで出された意見を集約してまちづくりに活かす（行政に提言する）住民参加手法のひとつであり、サラリーマンや主婦、学生など意見を表明したくてもなかなか出来ない人たち（サイレントマジョリティ）の意見を吸い上げることもできます。

そこで普段声を発する機会の少ない町民が町政へ参加するきっかけづくり、町民参加・町民協働によるまちづくりを推進するため、公益社団法人埼玉中央青年会議所は、伊奈町民討議会を開催することといたしました。皆様の貴重な意見を伊奈町のまちづくりに活かすチャンスです。

テーマ：魅力ある伊奈町の地域ブランドの創出と発信について

町民討議会の特徴

- 参加者の無作為抽出
住民基本台帳を使用し、16歳以上の男女を無作為で1,500名抽出します。
- 有償での参加
討議会には仕事として取り組んでいただくために謝礼として伊奈町共通お買い物券3,000円分を進呈します。

開催後の結果公表

- 町役場へ提出
町民からの声として伊奈町に提出します。
- 報告会の実施
取りまとめを行い報告会を実施します。
- 伊奈町と公益社団法人埼玉中央青年会議所のホームページに掲載
報告書はPDFファイルにてホームページにアップされます。

方法

- ① 無作為抽出で16歳以上の伊奈町民男女1,500人を抽出し参加者を募集する。
- ② 話し合いの参考となる情報提供を受ける。専門知識がなくても安心して参加できます。
- ③ 当日5～6人のグループに分ける。グループごとに討議・まとめ・合意形成を経て結論まで導く。

町民の皆様こんにちは。
公益社団法人埼玉中央青年会議所主催のこの事業は、今年で6回目を迎えます。
今回は、伊奈町の魅力あふれる地域ブランドの創出と発信について、夢のある街づくりのために町民の皆様のお考えを話し合っています。
町民の方々の取組みに大いに期待しておりますので、是非ご参加ください。



伊奈町長
大島 清

開催日程

町民討議会

日時：平成28年9月4日(日)
13:30～17:00 (受付開始 13:00)
場所：伊奈町ふれあい活動センター(ゆめくる)
小室2450番地1 TEL 048-724-0717

報告書作成会

日時：平成28年10月1日(土)
14:00～16:00 (受付開始 13:30)
場所：伊奈町役場 会議室
小室9493 TEL 048-721-2111

報告会

日時：平成28年10月22日(土)
14:00～16:00 (受付開始 13:30)
場所：埼玉県県民活動総合センター
内宿台6-26 TEL 048-728-7111

このチラシを受け取ったあなた、ぜひご参加ください。

※同封の申込書にてお申し込みください。報告会のみ参加も可能です。

主催 JCI 公益社団法人 埼玉中央青年会議所
<http://www.jc766.com>

共催 伊奈町
協力 伊奈町商工会 伊奈町商工会青年部

同封の封筒にてご郵送ください。

また、FAXまたはメールでのお申込みも可能です。

FAX: 048 (647) 3316

メール: inatougikai@gmail.com

お問い合わせ

公益社団法人埼玉中央青年会議所 市民協働委員会

TEL: 048 (647) 3315

締切日
7月30日(土)
必着

参加申込書

ご参加いただけるものに印を付けてください。

私は町民討議会の開催目的及び趣旨を理解し、「伊奈町いきいきミーティング」への参加を申し込みます。

町民討議会

日時: 平成28年9月4日(日)
13:30~17:00 (受付開始 13:00)

報告書作成会

日時: 平成28年10月1日(土)
14:00~16:00 (受付開始 13:30)

報告会

日時: 平成28年10月22日(土)
14:00~16:00 (受付開始 13:30)

報告会のみでの参加も出来ます。

- 町民討議会 場所: 伊奈町ふれあい活動センター(ゆめくる) 2階会議室1・2
伊奈町大字小室2450-1 TEL 048-724-0717
- 報告書作成会 場所: 伊奈町役場 会議室
伊奈町大字小室9493 TEL 048-721-2111
- 報告会 場所: 埼玉県県民活動総合センター3階 306セミナー室
伊奈町大字内宿台6-26 TEL 048-728-7111

※報告書作成会は討議会にご参加いただいた方のみのご参加となります。

※報告会のみでの参加の方には謝礼は支給されません。

※定員以上のお申し込みがあった場合は抽選とさせていただきます。

※結果の発表は参加決定通知書の発送をもって替えさせていただきます。(8月中旬発送予定)

お名前 様 年齢 歳代

ご住所

ご連絡先電話番号

※こちらからご連絡させて頂く事がありますので必ずご記入ください。

※個人情報保護の観点から本事業以外の目的での使用は一切行いません。

平成28年8月吉日

様

伊奈町長 大島 清
公益社団法人埼玉中央青年会議所
理事長 吉田 浩士

伊奈町いきいきミーティング「伊奈町民討議会」 参加決定通知書

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたびは『伊奈町いきいきミーティング「伊奈町民討議会」』にお申し込みいただき誠にありがとうございました。

つきましては首記の町民討議会へのご参加いただくことが決定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

当日のご参加をお待ちしておりますので、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

- 1. 日時**

町民討議会	平成28年9月4日(日)	13:00受付開始 13:30開会 17:00閉会予定
報告書作成会	平成28年10月1日(土)	13:30受付開始 14:00開会 16:00閉会予定
報告会	平成28年10月22日(土)	13:30受付開始 14:00開会 16:00閉会予定
- 2. 会場**

町民討議会	会場：伊奈町ふれあい活動センター(ゆめくる) 2階 伊奈町内宿台6-26 会場電話：048-728-7111
報告書作成会	会場 伊奈町役場 3階 第1会議室 伊奈町大字小室9493 会場電話：048-721-2111
報告会	会場：埼玉県民活動総合センター 3階 伊奈町内宿台6-26 会場電話：048-728-7111 (※各会場案内図は裏面をご参照ください。)
- 3. プログラム** 別添『伊奈町いきいきミーティング「伊奈町民討議会」参加討議者ガイドブック』の通り。
※当日の討議を円滑に進めるため、必ず事前にお読みください。
※当日もこの参加討議者ガイドブックをご持参ください。

裏面につづく

4. 謝礼 10月29日(土)の報告会の最後に報告書と一緒にお渡しいたします。
受取確認のためご捺印いただきますので、当日は印鑑をお持ち下さい。(三文判で可)また報告会に参加できない方には後日郵送にてご送付させていただきます。(送料は別途となります。)

5. お問い合わせ 公益社団法人埼玉中央青年会議所 市民協働委員会
電話：048-647-3315 FAX：048-647-3316
(担当者：委員長 関亦 郁夫、副委員長 厚川 尚史)

6. 当日の緊急連絡先

事業責任者	高橋 賢司	090-1041-8068
市民協働委員会 委員長	関亦 郁夫	090-4849-1296

7. 会場案内

伊奈町ふれあい活動センター (ゆめくる)

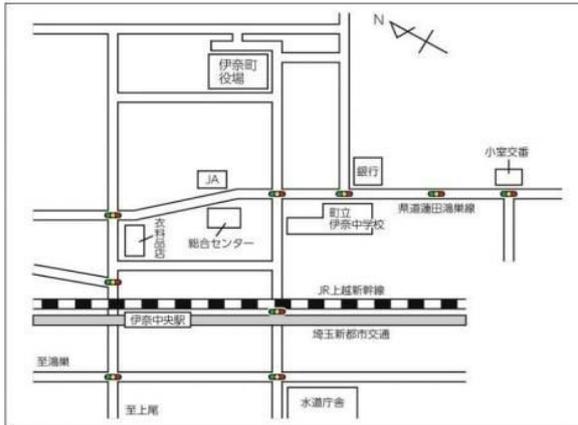


住所：埼玉県北足立郡伊奈町大字小室2450番地1

電話：048-724-0717

・JR宇都宮線蓮田駅下車 徒歩20分

伊奈町役場案内図

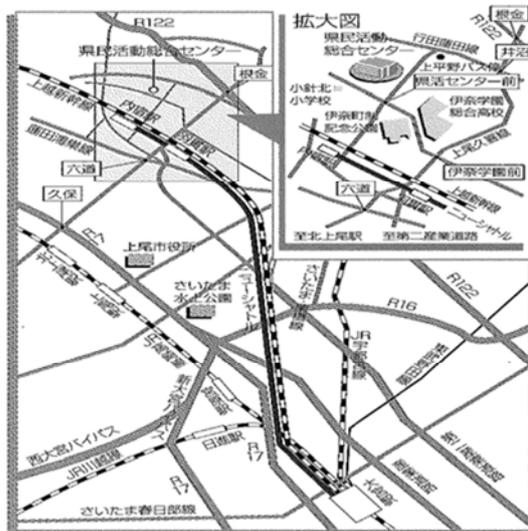


住所：埼玉県北足立郡伊奈町大字小室9493

電話：048-721-2111

- ・埼玉新都市交通伊奈線「ニューシャトル」伊奈中央駅下車 徒歩10分
- ・JR上尾駅東口から朝日バス「伊奈役場行」に乗車、終点伊奈役場下車
- ・JR蓮田駅西口からけんちゃんバス「上尾駅東口行（日本薬科大学経由）」に乗車、伊奈交番前下車 徒歩10分

埼玉県県民活動総合センター



住所：埼玉県北足立郡伊奈町内宿台6-26

電話：048-728-7111

- ・大宮駅から埼玉新都市交通ニューシャトル（内宿（うちじゅく）行き）で、内宿駅まで約25分、内宿駅から無料送迎バスで3分。または徒歩約15分。
- ・JR宇都宮線蓮田駅下車（西口）、朝日バス（丸谷行きまたは八幡神社行き、または菖蒲車庫行き）で、約20分。上平野バス停下車、徒歩12分。

伊奈町いきいきミーティング

参加者ガイド

I. 町民討議会開催にあたって

「伊奈町民討議会」は、本年5月に伊奈町と公益社団法人埼玉中央青年会議所がパートナーシップ協定を結び、第6回の開催に向けて準備を進めて参りました。

これまで討議会で話し合っていたいただくテーマや、運営方法などについて議論を重ね、こうして町民の皆様をお迎えしての町民討議会開催となりました。

皆様を募集するにあたっては、伊奈町に住民登録のある16歳以上の方から、年齢構成比や男女比など、伊奈町の人口構成を基準に1,500人を無作為に選出させていただき、参加依頼書を発送しました。その結果、多くの方々から参加のお申込みをいただき、抽選の結果、30の方々にご参加いただくこととなりました。

「個」と「公」の協和が叫ばれる今だからこそ、行政に頼ってばかりのまちづくりではなく、町民各々が自覚と責任を持ってまちづくりに参加し、そして協働により、まちづくりを進めていくことは大変重要なことと考えます。その意味で、この「伊奈町民討議会」で皆様が意見を交わすことは、伊奈町に前向きな変化をもたらすこととなるでしょう。

参加に際して町民の皆様の時間を割いて参加していただくことから、機会原価の損失分の補填という観点で、またまちづくりに対して仕事として取り組んでいただくために謝礼をご用意しました。今回は3,000円分の伊奈町共通お買い物券となっております。この手当は公益社団法人埼玉中央青年会議所の会費からまかなわれております。

討議会とは言っても、世間話のように和やかな雰囲気でお話いただければ結構です。気負わず、当日を楽しむ気持ちでご参加ください。

この「伊奈町民討議会」が、皆様にとってまちづくりへ参加する大きな第一歩となることを、委員会一同心より祈念申し上げます。

Ⅱ. 開催概要

1. テーマ ～魅力ある伊奈町の地域ブランド～
2. 日時 平成28年9月4日(日) 13時30分開会(受付開始13時00分)
3. 場所 伊奈町ふれあい活動センター(ゆめくる) 2階 会議室1・2
4. 当日のタイムスケジュール

13:30	開会
13:31	主催者挨拶
13:35	伊奈町長挨拶
13:40	事業説明(主旨・進め方等)
13:55	本討議～情報提供1～【10分】
14:05	本討議～情報提供2～【10分】
14:15	本討議～情報提供3～【10分】
14:25	本討議～グループ内自己紹介～【5分】
14:30	本討議～討議～【60分】
15:30	休憩【15分】
15:45	本討議～まとめ～【15分】
16:00	本討議～発表・投票～【30分】
16:30	アンケート・事務連絡
17:00	閉会・一般討議者解散

Ⅱ. 開催概要

5. 持ち物

- (1) 参加決定のお知らせ（本人確認のため）
- (2) 参加者ガイドブック
- (3) 事前アンケート（記入してお持ちください）
- (4) 筆記用具

6. 会場での飲食について

皆様が気軽に話し合いができるよう、所定の場所に飲み物コーナーを設けます。ペットボトルと紙コップを用意しますので、ご自由にお飲みください。紙コップは原則1人1個をご使用願います。

7. 謝礼の受け渡しについて

謝礼は報告会（10月22日）終了時にお渡しいたします。また、当日参加できない方は、報告書と一緒に郵送させていただきます。

（レターパック500にて）その際はレターパック代として510円を差し引かせていただきます。

（お買い物券2,000円分と490円分の切手） ※当日は受け取りの印鑑をお持ちください。

Ⅱ．開催概要

8．報告書作成会について

伊奈町民討議会で討議された内容については、報告書を町長へ提出する前に報告書作成会を開催し、皆様に討議結果をまとめさせていただきます。是非ともご参加いただき、報告書についてご意見をお願いします。

日時 平成28年10月1日（土） 14：00から

場所 伊奈町役場3階 第1会議室

9．報告会について

報告書作成界にてまとめた内容を製本し、皆様にご確認いただきます。ここで承認されたものを伊奈町に提出させていただきます。

日時 平成28年10月22日（土） 14：00から

場所 埼玉県県民活動総合センター3階 306セミナー室

Ⅱ．開催概要

10．報告書の提出と取り扱いについて

報告会でご承認いただいた報告書は後日提出させていただきます。

報告書の完成、提出は、11月上旬を予定しており、報告会にご参加いただけなかった方には、この時期のお届けとなります。

また、伊奈町のホームページ、青年会議所ホームページに掲載され広く公開されます。

伊奈町役場ホームページ

<http://www.town.saitama-ina.lg.jp/>

公益社団法人埼玉中央青年会議所ホームページ

<http://www.jc766.com/>

11．参加決定後のキャンセル等

諸事情により参加できなくなってしまった場合は、事前に連絡をお願いします。

Ⅱ. 開催概要

12. 今後の連絡先

開催日当日以外の連絡はこちらへお願いします。

公益社団法人 埼玉中央青年会議所

伊奈町民討議会担当委員会（市民協働委員会）

〒330-0845 埼玉県さいたま市大宮区仲町2-15 矢島ビル3F

TEL 048-647-3315 FAX 048-647-3316

13. 開催日当日の連絡先

当日諸事情により遅れる場合、または、急に参加できなくなってしまった場合など、開催日当日の連絡はこちらへお願いします。

伊奈町民討議会担当委員会 市民協働委員会

委員長 関亦 郁夫 携帯電話 090-4849-1296

副委員長 厚川 尚史 携帯電話 090-6180-0888

それでは9月4日（日）（13:00受付開始）

伊奈町ふれあい活動センター（ゆめくる）にてお待ちしております。

公益社団法人 埼玉中央青年会議所 市民協働委員会メンバー一同

V. 討議会の進め方

参考テーマ

伊奈町花火大会を盛り上げよう

V. 討議会の進め方

①グループ

討議会の時間配分は情報提供（10分）・討議（50分）・まとめ（30分）・発表、投票（40分）の計130分が標準です。

参加者は5～6人を1グループとし、5～6グループ計30人とします。

討議テーマが複数の場合にはグループのメンバーをテーマごとにシャッフルし、同じメンバーの組み合わせにならないようにする。

これは、テーブル内の強弱をなくし、すべての人が意見をできるようにします。

進行役のテーブルサポーターが各テーブルに付くが、アドバイス程度で議論自体の方向性には予断を与えない。（タイムキーパーを置くときもある）

②情報提供

討論に入る前に行政担当者や有識者など専門家が情報提供者として、テーマに関する基礎知識や現在の取り組みなどを参加者にご説明します。

③自己紹介と役割分担

まずはじめに自己紹介をしてください。このときに配られた名札に自分のニックネームを書きましょう。

書記係と発表係の2役を決めます。

V. 討議会の進め方

④討議1 意見の収集

参加者は各自、附せんをつかって意見を出し合います。

書いた附せんはどんどん討議ボードに貼っていきます。

この作業はなるべく無言で行います。（話すと言が止まってしまう、多くの意見が集められません。）

アイデアは、実現可能かどうか関係なくどんどん出してください。

田んぼを使う

他市との協働

セスナを飛ばす

昼のイベント

ゴミ拾い

予算が多いと盛上
る

お笑い芸人

打上の演出

有料席の工夫

大玉の復活

安全ルートの確保

ゆかた祭り

交通渋滞の解消

花火大会を中止

セレブ席

討議2 意見の分類（グループピング）

集まった意見を整理していきます。このときに附せんの意見を書いた人に説明してもらったり、グループピングを手伝ってもらったりしましょう。

グループピングが終わるとまとめの作業に入ります。最終的に3つほどの意見に集約します。

相手のアイデアを批判しないでください。

自分の意見は手短かに述べてください。参加者全員が発言できるよう配慮してください。

他の人の意見をさえぎらないで最後まで聞いてください。

他の人の意見を聞いて、自分の意見を変えても大丈夫です。

グループ

氏名：

テーマ 伊奈町花火大会をより盛り上げよう

イベント

たんぼを使う

昼のイベント

打上の演出

お笑い芸人

セスナを飛ばす

伊奈氏を絡ませる

ゆかた祭り

大玉の復活

資金面

予算の拡大

有料席の工夫

他市との協働

セレブ席

予算が多いと盛上

る
交通

交通渋滞の解消

安全ルートの確保

その他

ゴミ拾い

花火大会を中止

意見のまとめ 発表用紙の記入

まとめ1	投票
イベントを多く増やして、田んぼを利用することで多くの人が花火を楽しめるようにすることで、他地域との比較をつける。	
まとめ2	投票
有料席を増加の他、席にセレブ席や婚活席などの料金に差額を付ける他、他市との協働を働きかけ予算の確保を図る。	
まとめ3	投票
渋滞を緩和させるために、帰り道に散歩ルートなど、安全性の高い道を確認するなど、工夫する。	
備考	
大会のあと、ゴミ拾い大会を開催し、歳出の軽減を図る。 花火を見に来れない方に工夫して大会してもらう。 「伊奈氏」にちなんだイベントを実施する。 流行のお笑いライブを盛り込む。	

3つの意見に
まとめて下さい

これは残したいと
という意見は
残して下さい

⑤発表

まとめのシートを所定の場所に掲示し、発表係がまとめた内容を発表します。

このときどうしてこのような意見となったのかということも説明し、参加者が投票しやすいようにします。

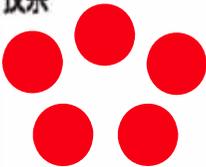
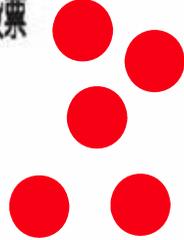
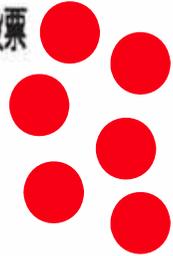
⑥投票

各グループの意見に対して参加者全員が自分の賛同する意見に対しマークを貼るという方法で投票します。

参加者は各自5ポイント保有し、ほかのグループの意見に投票しても構いませんし、1つの意見に対して複数投票しても構いません。

これはどの意見が一番いいか決めるのではなく市民の考え方の傾向、意識を知る事が目的で結論を出すわけではありません。

報告書には意見ごとの票数が明記されます。3つの意見以外で、残したい意見、捨てがたい意見も1つ出せます。(投票の対象にはなりません)

<p>まとめ1</p> <p>イベントを多く増やして、たんぼを利用することで多くの人が花火を楽しめるようにすることで、他地域との比較をつける。</p>	<p>投票</p> 
<p>まとめ2</p> <p>有料席を増加の他、席にセレブ席や婚活席などの料金に差額を付ける他、他市との協働を働きかけ予算の確保を図る。</p>	<p>投票</p> 
<p>まとめ3</p> <p>渋滞を緩和させるために、帰り道に散歩ルートなど、安全性の高い道を確保するなど、工夫する。</p>	<p>投票</p> 
<p>備考</p> <p>大会のあと、ゴミ拾い大会を開催し、歳出の軽減を図る。 花火を見に來れない方に工夫して大会してもらおう。 「伊奈氏」にちなんだイベントを実施する。 流行のお笑いライブを盛り込む。</p>	

Ⅲ. 話し合いのルールと注意点

話し合いのルール

1 ニックネームで呼び合しましょう。

- ・町民同士お互いを尊重しあってください。

2 いろいろな意見はみんなの財産

- ・他の方の意見は否定しないでください。

3 自由な発想、恥ずかしがらずに

- ・むずかしく考えずに気軽に提案してください。

4 みんなで楽しく話し合い

- ・皆さんが参加できるように気遣いをしてください。

注意点

参加討議者の皆様にとって討議しやすい環境をつくるため、以下のことにご協力ください。

討議中

- ・情報提供や討議中の携帯電話・メールのご利用はご遠慮ください。
- ・討議中のパソコンの使用や個人による録音・カメラ・ビデオ等による撮影は、原則としてご遠慮ください。
- ・主催者側が討議風景をカメラ・ビデオ等で撮影する場合があります。
- ・名札は必ずつけてください。

Ⅲ. 話し合いのルールと注意点

全体

- ・警備・安全保障の点から指定の場所以外に立ち入らないでください。
- ・施設内は禁煙です。喫煙は休憩時間中に所定の場所をお願いいたします。
- ・ごみはお持ち帰りください。ペットボトルは回収いたします。
- ・自己責任となりますので、貴重品の管理には十分ご注意ください。

魅力ある伊奈町の地域

ブランドの創出と発信について



伊奈町の概要

◎ 都心から40km圏内

◎ ニューシャトルの開業に伴い人口急増

昭和59年 22,954人 → 平成28年4月 44,469人

◎ 県の施設が多く立地

県立がんセンター、県民活動総合センター、伊奈学園総合高校など



◎ 教育施設が充実

日本薬科大学、国際学院高校、栄北高校と2つの専門学校



1

メモ

3

◎ 緑の多いまち

アカマツ、クヌギなどの雑木林が多く、
小室無線山はさいたま緑のトラスト
保全地に指定



◎ 都市化の進展と農業人口の減少

- ・ニューシャトルの駅を中心とした区画整理事業の進捗
- ・農業従事者の高齢化と後継者不足により
農業従事者が減少

(一次産業従事者 平成 2年 639人
平成22年 357人)



2

メモ

4

伊奈町の地域資源

- バラ
- 無線山のサクラ
- 町の特産品(梨・ぶどう)
- 緑(緑のトラスト保全地)
- 伊奈備前守忠次公など



5

メモ

7

バラを活かした取組み

- バラまつり、秋バラ ローズフェスタの開催
- 日本薬科大と連携し、ハンドクリームとアロマローションを開発
- バラを使ったスイーツ、グルメの商品化



6

メモ

8

特産品(梨・ぶどうなど)を活かした取組み

- 梨のブランド化
「黄金の梨」の販売
- 梨・ぶどうを使った
ワイン・ジャムの
商品化
- 6次産業化の推進
地元産「彩のかがやき」
を使った日本酒「忠次」
を商品化



メモ

11

伊奈備前守忠次公を活かしたまちづくり

- ◎ 町名の由来となった、歴史上の人物 伊奈備前守忠次公
- ◎ 忠次米を使った商品の開発
(6次産業化)
- ◎ 歴史・文化・観光の
拠点として整備



メモ

12

あとがき

今年で6回目となります伊奈町民討議会に参加してくださいました伊奈町の皆様、共催の伊奈町役場関係者の皆様、ご協力頂きました伊奈町商工会の皆様、伊奈町商工会青年部の皆様、情報提供をしてくださいました皆様、そしてテーブルサポーターとして参加してくださいました町民や日本薬科大学の皆様、誠にありがとうございました。町民の皆様の温かいご協力とご理解の下、無事に開催することが出来たことを心より感謝申し上げます。

今年の町民討議会では、27名の町民の皆様にご参加いただきました。また、以前町民討議会にご参加いただいた町民の方にテーブルサポーターとしてご参加いただき、初めて参加する町民の方々のサポートでグループ討議をより活性化させ多くの意見を引き出していただきました。今回のテーマ魅力ある伊奈町の地域ブランドの創出と発信について、町民の皆様がしっかりと意見を出しあって活気のある討議会となり、行政に対する提言をまとめることができました。伊奈町の魅力についてという観点で討議できたことで町に対して関心を深めるいい経験になった、面白かった等町民の皆様からも御好評をいただくことができました。町民の皆様の声を提言としてまとめさせていただくことが、伊奈町の更なる発展に繋がればと切に願い、結びとさせていただきます。

平成28年10月

公益社団法人埼玉中央青年会議所

市民協働委員会 委員長 関亦 郁夫

伊奈町いきいきミーティング「伊奈町民討議会」～実施報告書～

作 成：公益社団法人埼玉中央青年会議所

作成日：平成28年10月22日

2016年度 公益社団法人埼玉中央青年会議所

第21代理事長 吉田 浩士

副理事長 木田 高史

担当常任理事 高橋 賢司

市民協働委員会

委員長 関亦 郁夫

副委員長 厚川 尚史、小松 裕介

幹 事 井上 洋史、新藤 友啓、半田 謙介

委 員 齊藤 秀明、竹野 竜平、都築 龍太、星 明彦、村井 英樹

公益社団法人埼玉中央青年会議所ホームページ

<http://www.jc766.com/>

伊奈町ホームページ

<http://www.town.saitama-ina.lg.jp/>